初版(2026/10/1)

2026 Autumn アップデート情報

intra-mart Accel Platform / Accelシリーズ

© INTRAMART CORPORATION

改訂履歴

更新日	版番号	改訂内容
2026/10/1	初版	初版発行

© INTRAMART CORPORATION

目次

はじめに

1. 製品開発・アップデート方針

2. 2026 Autumnアップデート概要

3. AIネイティブ開発

4. Accel Agent

5. AI × 業務プロセス

6. その他のアップデート

7. FAQ / Appendix

intra-mart Accel Platform

intra-mart Accel Applications

- 本資料は開発中の画面が含まれている場合があります。
- 最新の情報はリリースノートをご確認ください。

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

はじめに

本資料の目的・背景

本資料は、当社製品「intra-mart Accel Platform」及び、業務アプリケーションシリーズ「Accel Applications」の最新バージョンにおける新機能や改善点をご紹介することを目的としております。
あわせて、導入効果や今後の開発方針についてもご説明し、新規導入や旧バージョンからのアップデートを検討される際の参考資料としてご活用いただける内容となっております。

対象読者

旧バージョンをご利用中の方	最新機能や改善点を確認し、アップデートの検討にお役立ていただけます。
新規導入を検討中の企業様	製品の特長や導入効果を理解し、比較検討の参考にしていただけます。

© INTRAMART CORPORATION

アセスメントサービスのご案内

- intra-martのアップデート/バージョンアップをご検討中のお客様に対して、
ご利用中の環境を調査するサービスをご提供しております。

アップデート・バージョンアップに関する課題

- 最新バージョンへの移行に不安がある
- 現行システムへの影響範囲が不明確
- 移行作業に必要な期間やコストを把握したい
- 移行後のパフォーマンスが心配

弊社へご相談ください！

アセスメントサービスご提供内容

状況ヒアリング・お見積もり

現行システムの構成や課題をヒアリングし、
アセスメント内容と費用をお見積もり致します。

アセスメント実施

現行システムの状態を調査します。
問題点を洗い出し、概算見積を作成致します。

レポートのご提出

アセスメント結果報告書、システム構成レポート、
ユーザアプリ規模レポートなどのレポートを提出いたします。

アセスメント実施後の移行作業もご支援します。

© INTRAMART CORPORATION

開発者向けポータルサイト「Developer Portal」

開発者にわかりやすく各種情報・ドキュメントを案内するサイトを公開しております。
intra-martの各種開発情報の収集にご利用ください。

サイト概要 ► https://dev-portal.intra-mart.jp/

Developer Portal

製品ドキュメント、YouTubeチャンネルコンテンツなど、intra-mart関連情報の集約サイトです。
ローコード開発情報専用ページ「ローコードポータル」も本サイトからご覧いただけます。

ローコードポータル

intra-martのローコードツールを使用した開発に関する、専用ポータルサイトです。
開発フェーズごとのローコード開発ツール利用方法、各製品にフォーカスした活用事例記事などを公開しています。

© INTRAMART CORPORATION

「Developer Portal」追加コンテンツ

2026 Autumnのリリースに合わせ、Developer Portalにローコード操作マニュアル、及び、ワークフローガイドをアップデートしました。

ローコード操作マニュアル

UP

「ローコードチュートリアル」追加
Accel Studioを利用した簡単な業務アプリケーション開発のチュートリアルを追加しました。
開発の流れを追いながら各種ローコード開発ツールの操作方法を学べます。

ローコード操作マニュアル

ワークフローガイド

UP

「ワークフロー開発の基礎」追加
ワークフローのルート設計やローコード、プロコード開発における開発の流れを追加しました。
ワークフロー開発における躓きやすいポイントを整理しながら学べます。

ワークフローガイド

© INTRAMART CORPORATION

AIネイティブ開発ドキュメント

intra-mart Accel PlatformにおけるAIネイティブ開発のためのドキュメント集をご準備しています。
コーティングエージェントを活用した環境構築から、資材を生成するチュートリアル、業務アプリケーションのサンプルまでを扱います。

AIネイティブ開発ドキュメント

01

製品開発・アップデート方針

© INTRAMART CORPORATION

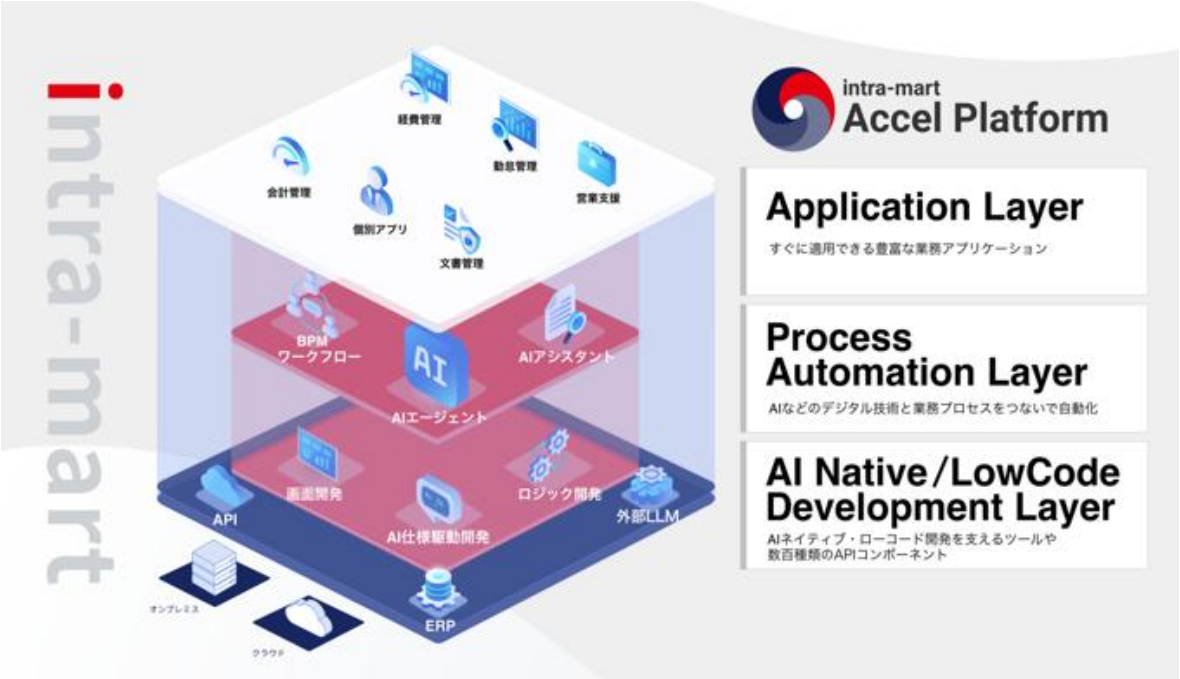
intra-mart Accel Platformが目指すもの

intra-mart
Accel Platform

ヒトとAIと業務を、ひとつに動かす。
企業価値を進化させるオーケストレーション基盤。
Enterprise AI Orchestration Platform

intra-mart Accel Platformは、
ヒトとAIと業務をひとつに動かす、Enterprise AI Orchestration Platformです。

統制と俊敏性を両立しながら経営の意思決定と現場の実行を一体化し、AIと業務自動化・高速開発を組み合わせることで、
既存資産を競争優位へと転換するオーケストレーション基盤を目指しています。



© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

Enterprise AI Orchestration Platformを支える3つの柱

Enterprise AI Orchestration Platformの実現に向け、以下の3本柱で価値を提供します。

01

ガバナンス × 経営スピード
統制と俊敏性を両立する経営基盤

全社横断でデータとプロセスを統合し、経営の意思決定と現場の実行を一体化。統制を保ちながらも迅速な意思決定と継続的な業務変革を可能にします。

02

AI × 業務自動化 × 高速開発
人的資本を最大化するモデル

AIによる自動化を前提とした業務設計により、人とテクノロジーの最適な役割分担を実現。組織全体の生産性を高め、AIを活用した高速開発でアイデアを素早く価値に転換します。

03

業務プロセス × 柔軟性
既存資産を転換する変革アーキテクチャ

乱立した既存システムをまたがってデータとプロセスを統合し、価値創出の基盤を構築。業務プロセス起点で全体最適化し、既存システムのフロントで持続的な変革を実現します。

© INTRAMART CORPORATION

AIエージェント活用基盤の目指す姿

認証・統制を一元化し、実行知見をナレッジに還元しながら進化し続ける拡張型の共通基盤を構築

2027Spring
以降対応予定

インターフェース層
従業員との接点
人が業務に合わせるのではなく、AIが人の要求に応える接点へ

- 従業員ポータル
  日常業務の入口を一元化
- モバイルアプリケーション
  現場・外出先から利用
- マルチチャネル
  チャット・音声・メール

プロセス層
業務への組み込み
プロセスの設計・定義もAIで高速にデザイン

- 定型業務
  プロセス管理 / 承認ワークフロー
- 非定型業務
  ケースマネジメント
- AI生成アプリケーション
  (Accel Orbit)
  業務アプリをAIが自動生成
- 自律型データ分析
  AIが自ら問いを立てて分析

AIオーケストレーション

Human in the Loop(重要判断は人が承認)

AI層
実行の中核
エージェントもAIで設計し、改善ループを高速に回す

AIエージェント

- ユーザー定義エージェント
  現場が自ら定義・追加
- 照会対応エージェント(例)
  問い合わせに即時回答
- Next Best Action エージェント(例)
  次の一手を提案

共通内部構成: Instruction / Skill / Evaluator / Guardrail / Tool / Model Client

ナレッジ活用

データ統合層
知識と連携の基盤
全社の知をつなぎ、AIが理解できる形に整える

- ナレッジレジストリ
  - ナレッジグラフ(オントロジー)
  - 検索エンジン(RAG)
- 社内ナレッジ
  文書・ノウハウの集約
- セマンティックレイヤ
  指標・用語の定義を統一
- 外部連携
  (A2A / MCP)
  外部エージェントと相互接続

ツール経由でアクセス

外部データ・外部エージェント

基盤システム層
既存資産・外部LLM
既存投資を活かし、AIの価値へつなげる

- SAP
- Salesforce
- Office365
- データベース
- 外部LLMサービス

実行知見をナレッジへ還元

- 認証・認可
- 監視・統制・監査
  (AgentOps)
- コスト統制

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

02

2026 Autumn
アップデート概要

© INTRAMART CORPORATION

2026 Autumnの機能強化テーマ・ポイント

1 開発体験を変革するAIネイティブ開発（Accel Orbit）

VS Codeと生成AIを組み合わせた新しい開発環境を提供。AIエージェントを活用したアプリケーション開発により、開発の速度と品質を高めます。

2 業務プロセスにAIを組み込むAccel Agent & WF / BPM

AIエージェントをお客様自身で作成・運用できる基盤「Accel Agent」を提供。IM-Workflow / IM-BPMをAIと組み合わせることで業務データの価値を高めます。さらにiGrafxの連携強化により、業務プロセスの可視化と改善サイクルを支援します。

© INTRAMART CORPORATION

03

AIネイティブ開発

© INTRAMART CORPORATION

AIネイティブ開発とは

「対話」が「アプリケーション」になる

From Conversation to Application

AIとの協業を前提とした開発プロセスや文化を取り入れ、
ソフトウェア開発を加速させるアプローチです。

要求や要件、仕様、設計などの成果物を
共通の文脈として人とAIが共有し、
確認や判断を重ねながら、アプリケーションを作成していきます。

© INTRAMART CORPORATION

AI仕様駆動開発を採用

intra-martは、単なる自動生成ではなく、設計書をベースとした「繰り返し開発に強い」開発フローを実現するため、エンタープライズ業務アプリ向けのAI仕様駆動開発を採用しました。

① バイブコーディング

「感覚」で指示するコーディング

自然言語で大まかに指示し、AIが即座にコードを生成。プロトタイピングや個人用ツール作成に向く。

課題：再現性が低く、繰り返し開発・品質管理が困難。エンタープライズ用途には不向き。

主なツール

Replit / Bolt.new など

② エージェンティックコーディング

AIエージェントが自律的にコーディング

タスク分解・実行・修正をAIが自律的に行い、複雑な機能実装を自動化。開発スピードが大幅に向上。

課題：設計書がなければ生成結果がブレ、CI/CDや繰り返し開発への対応が難しい。

主なツール

Cursor / Devin / Claude Code など

③ AI仕様駆動開発 ✅

設計書を起点とした高品質コード生成

仕様書・ソース・テスト仕様書を一体管理。設計書がコード生成のINPUTとなり、再現性・品質を担保。

強み：繰り返し開発・CI/CDパイプラインに対応。エンタープライズ業務アプリに必要な品質基準を満たせる。

主なツール

AWS Kiro など

エンタープライズ向けでは主流

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

intra-martのAIネイティブ開発

intra-martのAIネイティブ開発(Accel Orbit)は、
「開発プロセス」「コンテキスト」「品質保証」の3つの領域で、AIを前提とした開発を支える機能を提供します。

01

モダンな環境へ移行する開発環境・プロセスの刷新

e BuilderからVS Codeへ移行。構築テンプレートで開発環境を構築。Claude Code/GitHub Copilot等の主要コーディングエージェントに対応し、モダンな開発プロセスを実現します。

02

AIに知識を正しく伝えるコンテキストの整備

実装フェーズで活用するSKILLS/RULESやMCPサーバを提供。開発ナレッジMCPサーバにより、公開ソースコードと開発ナレッジの検索ができます。

03

AIの生成物を検証する品質保証・CI/CDの強化

静的解析(Linter/Formatter)やテスト駆動開発を提供。CI/CDパイプライン導入ガイドの提供により、AIが生成するコードの品質を担保します。

© INTRAMART CORPORATION

AIを活用した開発プロセスイメージ

① 開発プロセス

要件定義・設計
上流工程から順に実装へ
※2026Autumnでは未対応

MCPサーバ・SKILLS/RULESがintra-mart独自の知識を渡す
開発者はドキュメントを探しに行く手間が要らない

② コンテキスト

プロジェクト作成
専用ツールが規約とコンテキストを配置

エージェントが実装
コーディングAIへ日本語で指示するだけ

③ 品質保証・CI/CD

ホットデプロイ
再起動もWar再作成も不要で即時反映

動作確認
ブラウザで操作してその場で確かめる

追加の指示で修正 → 即時反映 → 再確認

© INTRAMART CORPORATION

開発環境・プロセス

AIを前提とした開発環境やプロセスを提供

VS Codeへの移行 環境構築のテンプレート

e BuilderからVS Codeへ移行

仕様駆動開発

要件定義～実装までサポート

コーディングエージェント対応

Claude Code / GitHub Copilot / Codex などの主要エージェントをサポート

提供機能

Visual Studio Code 向け拡張機能

- デプロイ機能
- スクリプト開発モデルデバッグ機能

コンテナ活用 開発環境

- 環境構築テンプレートによる Accel Platform 環境構築
- スタンドアロン構成/クラスタ構成

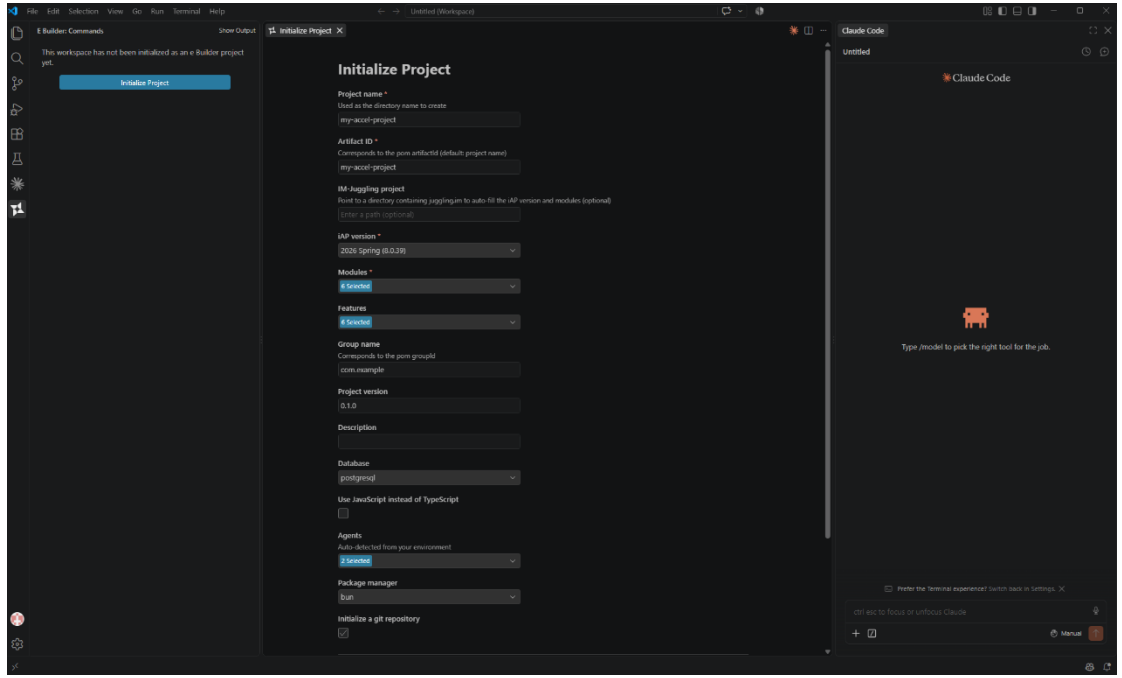
Accel CLI

- プロジェクト作成・コンテキスト配置
- 開発環境へのビルド資材デプロイ

© INTRAMART CORPORATION

VS Code開発環境

AIネイティブ開発の開発環境であるe Builder(Core)、e Builder(Debug)を提供します。



概要

- EclipseベースのIDE「e Builder」に代わり、VS Code上でiAP開発が可能に
- **Rhinoデバッグプロトコル対応の拡張機能を新規開発。**
  e-Builder同等のブレークポイント・ステップ実行・変数監視に対応
- TypeScript型定義によるコード補完・シンタックスハイライトを提供

メリット

- AIネイティブ開発による実装コスト削減、高速プロトタイピングを実現
- モダンなIDEで開発者体験を向上
- Accel CLI連携のタスクランナーで、ビルド・テスト・デプロイをVSCode上からショートカット実行

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

VS Code開発環境

e Builder(Core)はiAPの開発プロジェクトをVS Codeの画面から作成・管理するための拡張機能です。

コマンド	できること
プロジェクトを初期化（init）	開発プロジェクトを新規に作成する
資材を更新（update）	配備済みの資材を最新のテンプレートへ更新する
構成を切り替え（switch）	利用するモジュール・機能・エージェントを変更する
ビルド（build）	ユーザモジュールをビルドする
デプロイ（deploy）	ビルドした資材を共有開発サーバへ転送する

init / update / switch / deploy は フォーム画面(タブ) が開き、「入力 → 確認 → 実行 → 結果」の順に進みます。
ビルドはフォームを使わず、ターミナルで実行されます。

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

VS Code開発環境

e Builder(Debug)は、サーバサイドスクリプト(jssp)のデバッグとテストをVS Codeの画面から行うための拡張機能です。

機能	できること
デバッグ	サーバ上で動いているサーバサイドスクリプト(jssp)を指定した行で一時停止させ、変数の中身を確認しながら 1 行ずつ実行する
テスト実行	サーバサイドスクリプト(jssp)のテストコードを一覧画面から実行し、結果とカバレッジを確認する

2つの機能は独立しています。デバッグはサーバ上で動いているスクリプトが対象で、サーバ側の準備が必要です。
テストの実行はPCの中だけで完結し、サーバを使いません。

デバッグ機能を使うためのサーバ設定を有効にしている間は、**Eclipse ベースのe Builder(統合開発環境)でのサーバサイドスクリプトのデバッグができなくなります**

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

コンテナ活用による開発環境構築の価値

開発環境の標準化

誰でも同じ環境をすぐ再現でき、セットアップの差異が起きない

複数構成を切替可能

用意された構成テンプレートで簡単に切替
資材切り替え、専用の環境で動作確認ができ、他社に影響なく開発が可能

CI/CDと統合

自動テスト・デプロイのパイプラインにそのまま組み込める

構築時間の短縮

手動で数時間～1日かかっていた環境構築が、コマンド実行だけで大幅に時間短縮

© INTRAMART CORPORATION

Accel CLIについて

intra-mart開発プロジェクトの作成・管理を行うCLIツール「Accel CLI」を提供します。

Accel CLIを利用した開発の流れ

1	セットアップ	accel initでプロジェクトを作成し、コーディングエージェント向けの規約を自動配置
2	コーディングエージェントで実装	プロンプトを入力すると、アプリケーション(JSSP・ルーティングなど)を自動生成
3	ビルド・デプロイ	ビルド、デプロイコマンドを入力すると、開発環境へ反映し、ブラウザで動作確認
4	コーディングエージェントで実装修正	追加のプロンプトでコードを修正し、再ビルド・再デプロイ
5	修正版の確認	修正した最終版を確認

CLIとは・・・ Command Line Interfaceの略。

効果

自然言語でアプリを生成

日本語プロンプトを渡すだけで、アプリケーションを自動生成

デプロイのリードタイム削減

ホットデプロイが可能。warの再作成やサーバの再起動が不要

規約に準拠

accel initがintra-mart固有のルールを自動的に配置し、担当者のスキルに依存しない開発が可能

© INTRAMART CORPORATION

コンテキスト整備

intra-mart独自の知識・規約をAIに正しく伝えて制御する仕組みを提供

MCPサーバ

API仕様・コード検索が可能
iAPのバージョンに合わせた情報へアクセス
製品ドキュメント検索等

SKILLS/RULES

コード生成・仕様駆動開発で活用するSKILLSを提供
WF/LD定義、スクリプト/JaveEE開発
認可・ロール、テナント環境セットアップ資材など

提供機能

AI コンテキスト資材

- Skills / Rules / MCP など
- スクリプト開発モデル向けスキル
- Java 開発向けスキル(*)
- 開発支援スキル全般(テスト等)
- BPMN 自動生成

(*)IM-Propagationなど、現時点で非対応の部分があります。

© INTRAMART CORPORATION

AI向けコンテキスト資材

② コンテキスト

コンテキスト群

API仕様

iAP標準APIの仕様をAIが理解できる形で公開

UIコンポーネント

UIライブラリの利用パターンを参照可能に

DBスキーマ

標準テーブル構造・カラム定義を提供

コーディングルール

命名・構造・禁則を生成AIに守らせる

サンプルコード

典型実装の例示でハルシネーションを抑制

デザインパターン

iAP特有の設計パターンを定型化して提供

コンテキストは弊社が公開しているものをベースに各社で変更可能です。
自社の標準ルールや独自APIの設定をすることで、生成するアプリの品質を高めることが可能です。

© INTRAMART CORPORATION

品質保証

AIが生成するコードに対する検証プロセスを提供

テスト駆動開発

実装と同時にテストを生成
生成したテストを自動実行
できる仕組みも提供

静的解析

Linter/Formatterを提供

ホットデプロイ

ステージング環境でアプリケーションの動作確認が可能
Warファイルの再作成が不要に

提供機能

DevSecOps ガイドライン

- DevSecOps環境構築例
- IM-Jugglingライブラリ

AI ネイティブ開発支援モジュール

- ホットデプロイ機能
- ステージング管理機能

© INTRAMART CORPORATION

CI/CD改善

AIが生成するコードに対するDevOpsガイドラインを提供

ブランチ運用

mainは常にリリース可能な状態を維持
feature/*で開発し、タグpushでリリース

パイプライン分割

CI:検証→ビルド→成果物保存
Release:タグ契機でGitHub Releaseにzip添付

品質ゲート

PRの必須チェックに設定し、失敗時はマージ禁止
CODEOWNERSの併用も可能

提供ガイドライン

CI/CD基盤ガイド

- GitHub Actions(CI/Release/タグ運用)
- GitLab + Jenkins(別CI基盤版)

Issue駆動のエージェント連携

- Issueにagentラベルを付与するとClaude Codeが自動調査
- 原因特定時はブランチ作成・修正・PR作成、未特定時はIssueにコメント

© INTRAMART CORPORATION

AIネイティブ開発支援モジュール

③ 品質保証・CI/CD

AIネイティブ開発支援モジュールは、ローカルで開発したスクリプト資材を、共有の開発サーバ上にそのまま持ち込んで動かせるようにする開発支援機能です。

概要

- 独立した検証用の実行環境
- ステージング環境にユーザモジュールをデプロイ可能
- **再起動なしでの即時反映 (ホットデプロイ)** (*)
- 独立した環境でアプリケーションの動作検証が可能

メリット

- 都度warファイルの作成が不要
- 複数のステージング環境の切り替えが1Clickで可能
- **AIエージェントによるデプロイと動作確認 (ブラウザ操作等)**

(*)一部ホットデプロイ対象外資材があります。

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart

AIネイティブ開発導入のメリット

環境構築からアプリケーション開発までのリードタイムを大幅に短縮します。

01

環境構築の効率化
数時間～1日 → 大幅短縮

環境テンプレートの提供により、誰でも同じ開発環境をすぐに再現できます。セットアップの差異が起きません。

02

開発スピードの向上
リードタイムを約1/6に削減※

環境構築・実装・テスト・デプロイの手順が大きく削減され、上流工程に時間を割けるようになります。

03

合意形成がスムーズに
認識のズレを削減

モックやプロトタイプ作成が簡単になり、仕様のすり合わせで認識のズレを減らせます。

※記載の数値は社内における検証結果です。導入環境・業務内容により異なり、効果を保証するものではありません。

© INTRAMART CORPORATION

04

Accel Agent & BPM

© INTRAMART CORPORATION

Accel Agentとは

人とAIと業務をひとつに動かす
～人が指揮し、AIが実行し、人が判断する～

Bringing People, AI, and Work Together

業務フローに応じたAIエージェントを、
お客様自身で作成・運用できる環境です。

AIエージェントとは、LLMが目標・状況・ツールをもとに
自律的に判断し、業務を実行する仕組みです。
それを、お客様自身の手で作り、育てられるようにします。

© INTRAMART CORPORATION

Accel Agentが提供する価値

人が業務プロセス全体を指揮しながら、順次AIエージェントに業務を「任せていける」環境を実現します。

01

単発利用で終わらせない プロセス組み込み

単発のAI呼び出しではなく、エージェントをIM-LogicDesigner・IM-BPMのフローの一部として組み込めます。

02

安心して使える基盤を装備 ガバナンス・可視化・コスト計測

振る舞いのトレース・コスト計測・パフォーマンス管理により、ビジネス利用に必要な前提を網羅します。

03

現場が無理なく導入できる 段階的な「任せ方」を設計

人が業務プロセス全体を指揮しながら、業務ごとに順次AIへ移譲していけます。

© INTRAMART CORPORATION

Accel Agent　6つの機能領域

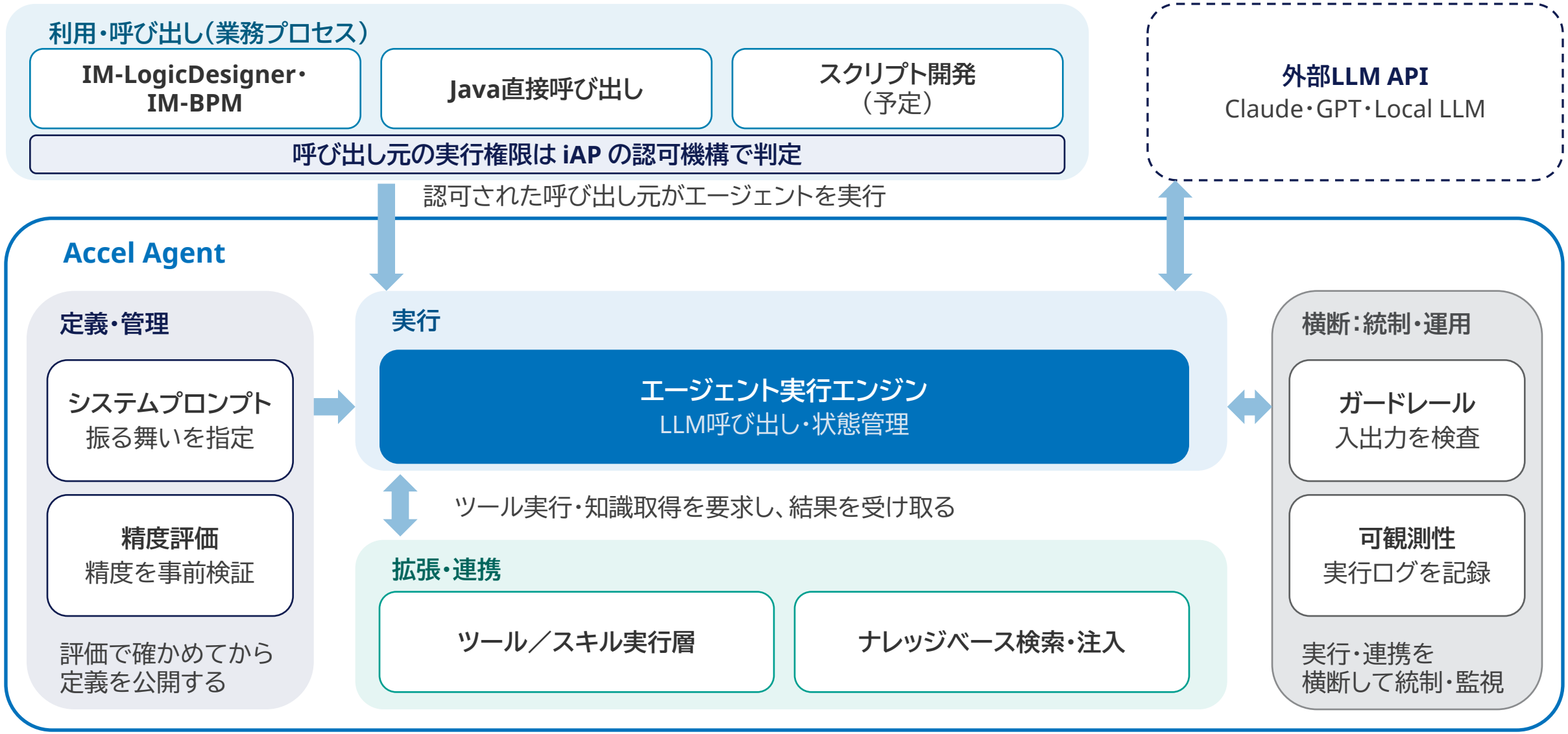
Accel Agentの構成

Accel Agentは、エージェント定義・実行を中核に以下の6つの機能領域で構成されており、「intra-mart Accel Platform」上でご利用いただけます。

領域	概要
エージェント定義・実行	LLM・ツール・ナレッジベース・ガードレールを束ねて動かすコアエンジン
ツール・スキル	組み込み／LogicDesigner／MCP／スキルの実行部品をエージェントに供給
ナレッジベース	社内文書を登録・検索し、業務知識としてエージェントの判断根拠にする
可観測性	エージェント実行・LLM実行を追跡・可視化し、コスト・エラー・監査証跡を管理
精度評価	テストデータセットによる定量評価とトレース分析で、品質を継続的に検証・改善
ガードレール	入出力・ツール入出力を検査し、必要に応じて実行を止める安全機構

© INTRAMART CORPORATION

機能領域の役割



© INTRAMART CORPORATION

機能詳細① エージェント定義・実行

AIエージェントの役割を設定する機能です。
モデルの指定、利用するツールやナレッジベースの管理のほか、テストやモニタリングすることが可能です。

概要

- LLM・ツール・ナレッジベース・ガードレールを「エージェント定義」に集約
- 実行エンジンがLLMの応答を都度解析し、ツール呼び出し・ナレッジベース検索・最終回答のいずれかに分岐して実行ループを回す

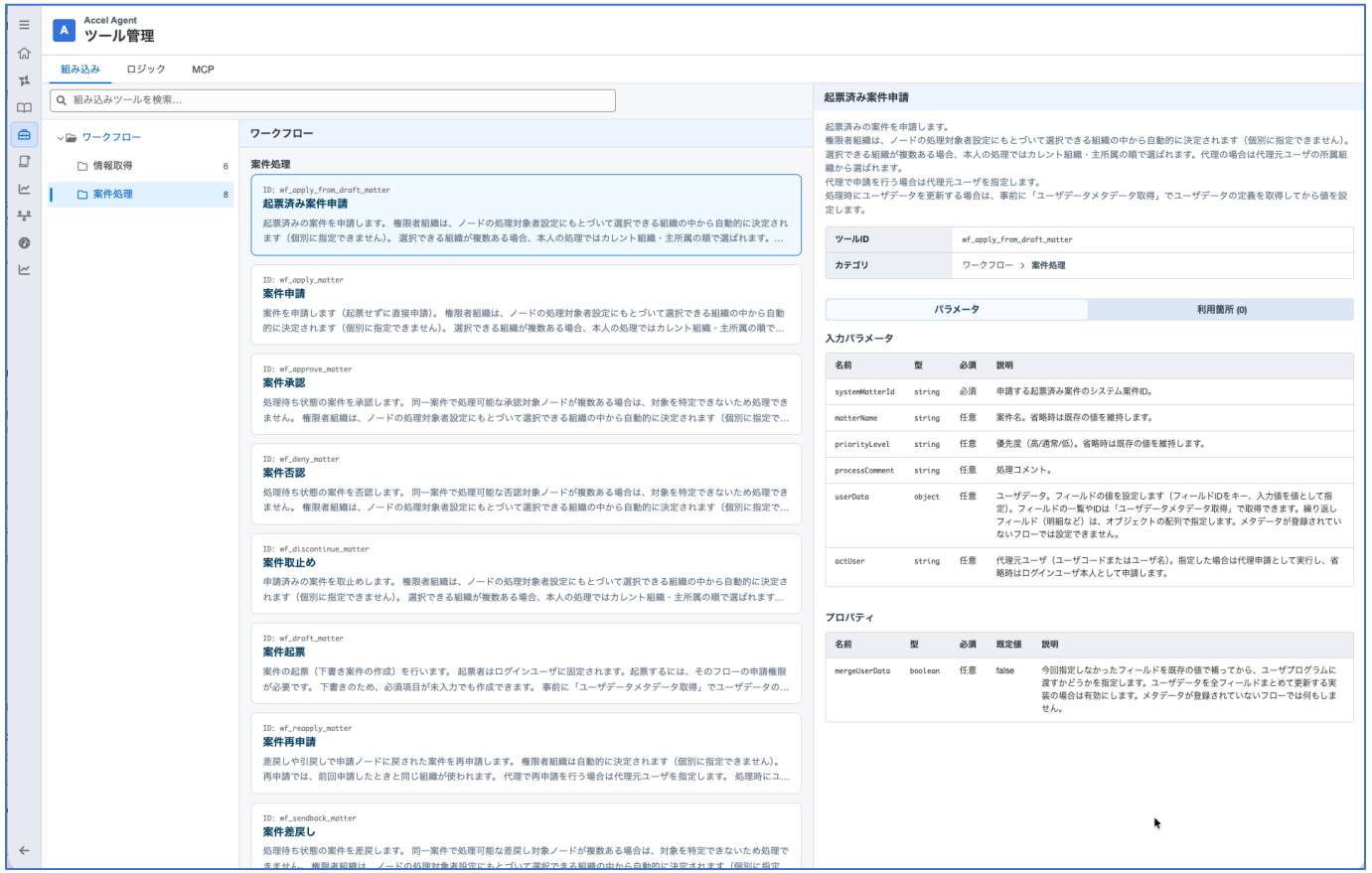
ポイント

- 定義はバージョン管理し、テストで安全に更新
- LLMや実行ストラテジを、エージェントごとに選択可能

© INTRAMART CORPORATION

機能詳細② ツール・スキル

エージェントが使えるAPIやルールを指定することができる機能です。



概要

- 組み込み/LogicDesigner/MCP/スキルの4種類を管理

例：ワークフロー案件の照会・起票・承認、既存業務システムのデータ参照

ポイント

- 実行させたいなら「ツール」、手順を教えたいなら「スキル」
- スキルからツールの使い方を指示も可能

© INTRAMART CORPORATION

ツールとスキルの使い分け

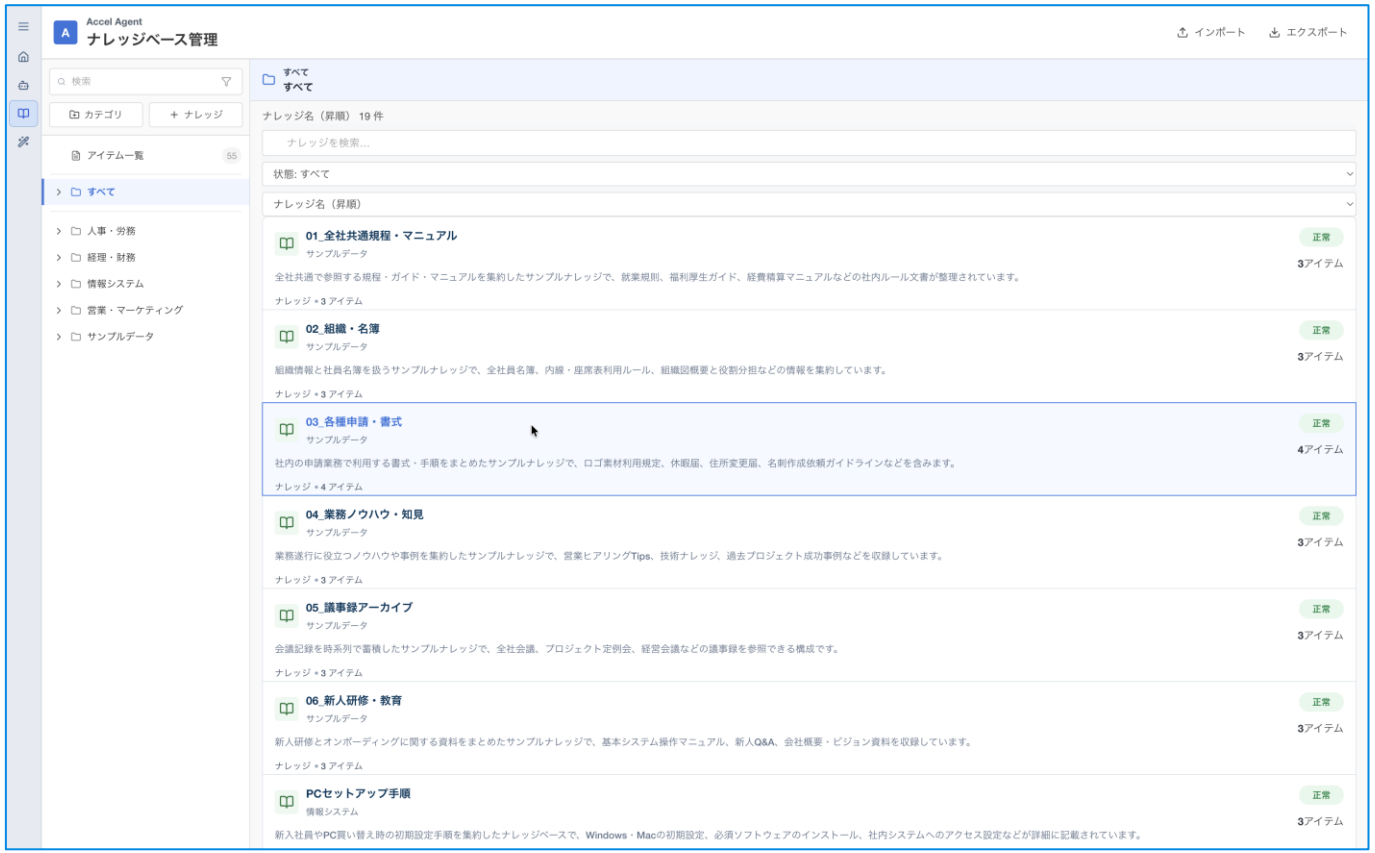
項目	ツール	スキル
主目的	具体的な処理の実行（検索・登録・送信など）	実行手順・判断材料の提供
実体	API／ロジック／外部接続	テキストベースの定義資産
出力	実行結果	エージェントへの指針

- 実行させたいことがあるなら →「ツール」
- 手順・判断基準を教えたいなら →「スキル」
- 両者は補完関係 — スキルの中でツールの使い方を指示することもできる

© INTRAMART CORPORATION

機能詳細③　ナレッジベース

エージェントが参照できるデータを設定できる機能です。
2026 Autumnでは、ファイルのアップロードとIM-Wikiに対応しています。



概要

- 社内文書を登録・チャンク化・ベクトル化し、判断根拠として検索・注入
- 自社の文脈に沿った判断・回答が可能に

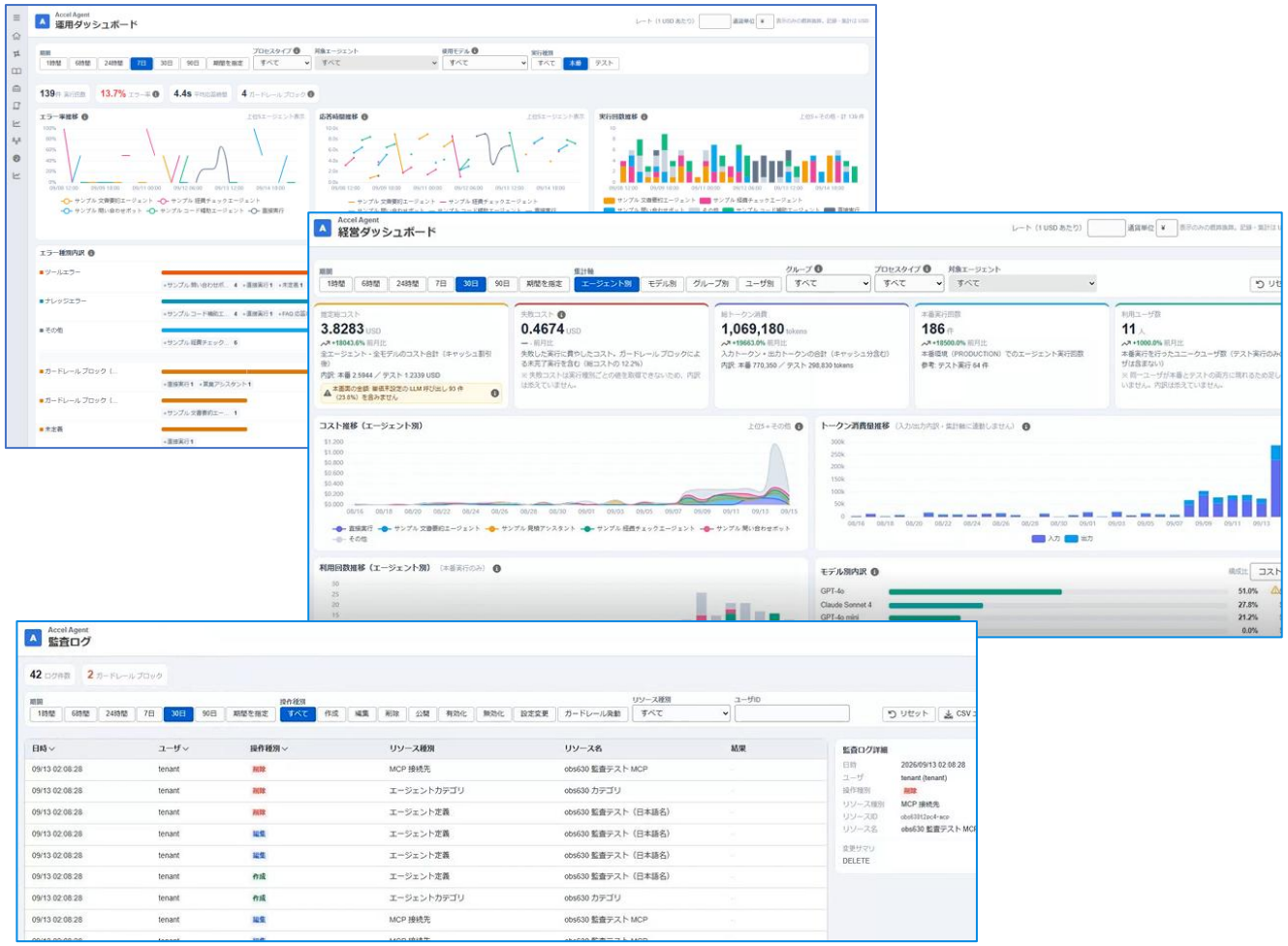
ポイント

- AI用説明文の書き方でナレッジベースの選定精度が変わる
- 同じ考え方はツール定義の説明文にも適用される

© INTRAMART CORPORATION

機能詳細④　可観測性

エージェントの稼働状況やコストをモニタリングできる機能です。
記録は製品内に保存し、OpenTelemetry形式で外部の監視基盤へ送ることが可能です。



概要

- LLM呼び出し・ツール実行をすべてトレース記録
- 中身をブラックボックスにしない

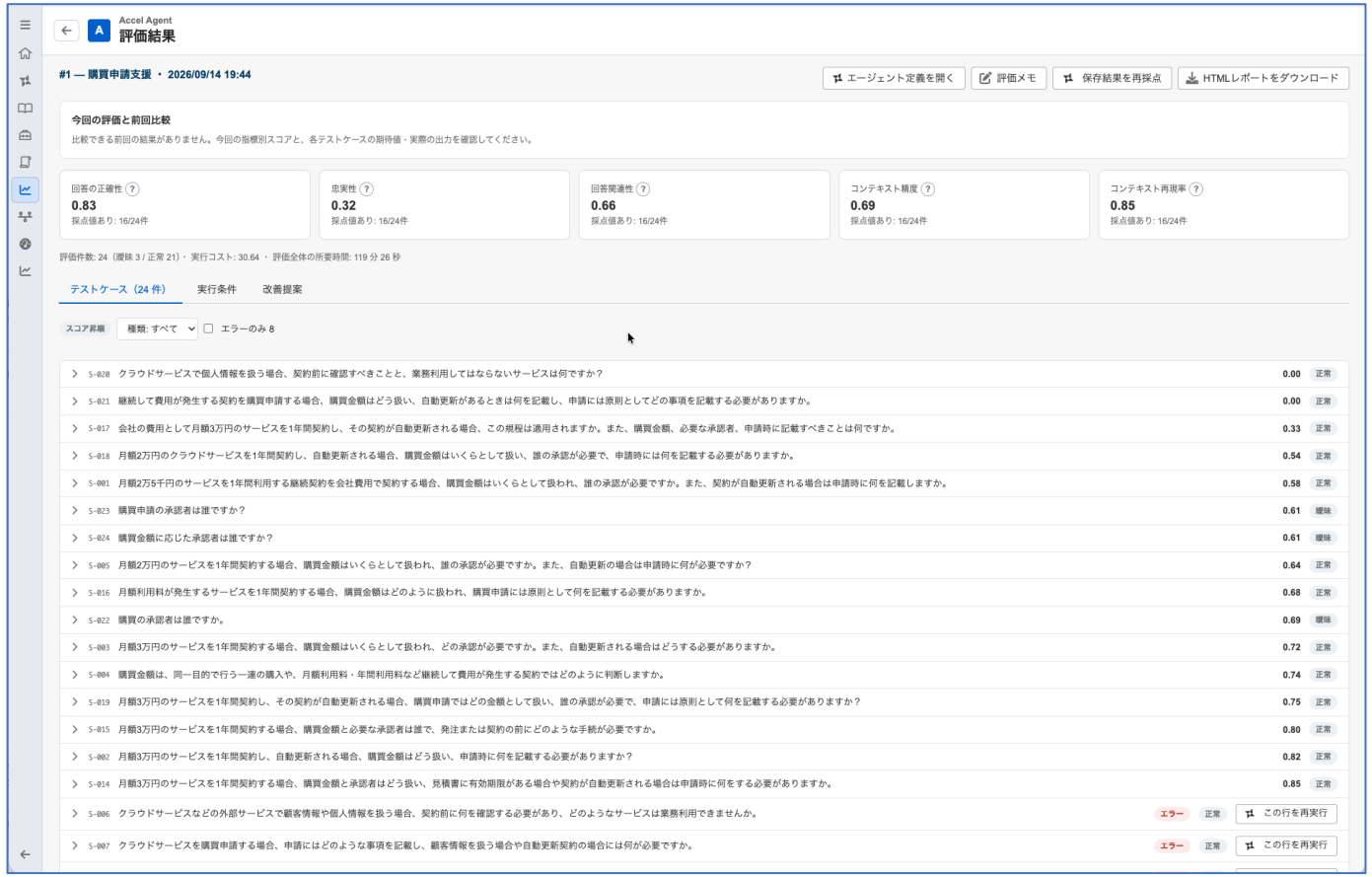
ポイント

- 実行トレースから失敗原因を特定できる
- コスト・監査ログ・エラー率・応答時間の監視で運用の前提を満たす

© INTRAMART CORPORATION

機能詳細⑤　精度評価

設定したAIエージェントのテストができる機能です。
テストデータセットで繰り返し評価し、スコアの推移と改善提案を返します。



概要

- テストデータセットで定量評価、トレース分析で原因特定
- 同じテストデータセットでの再評価と推移の比較

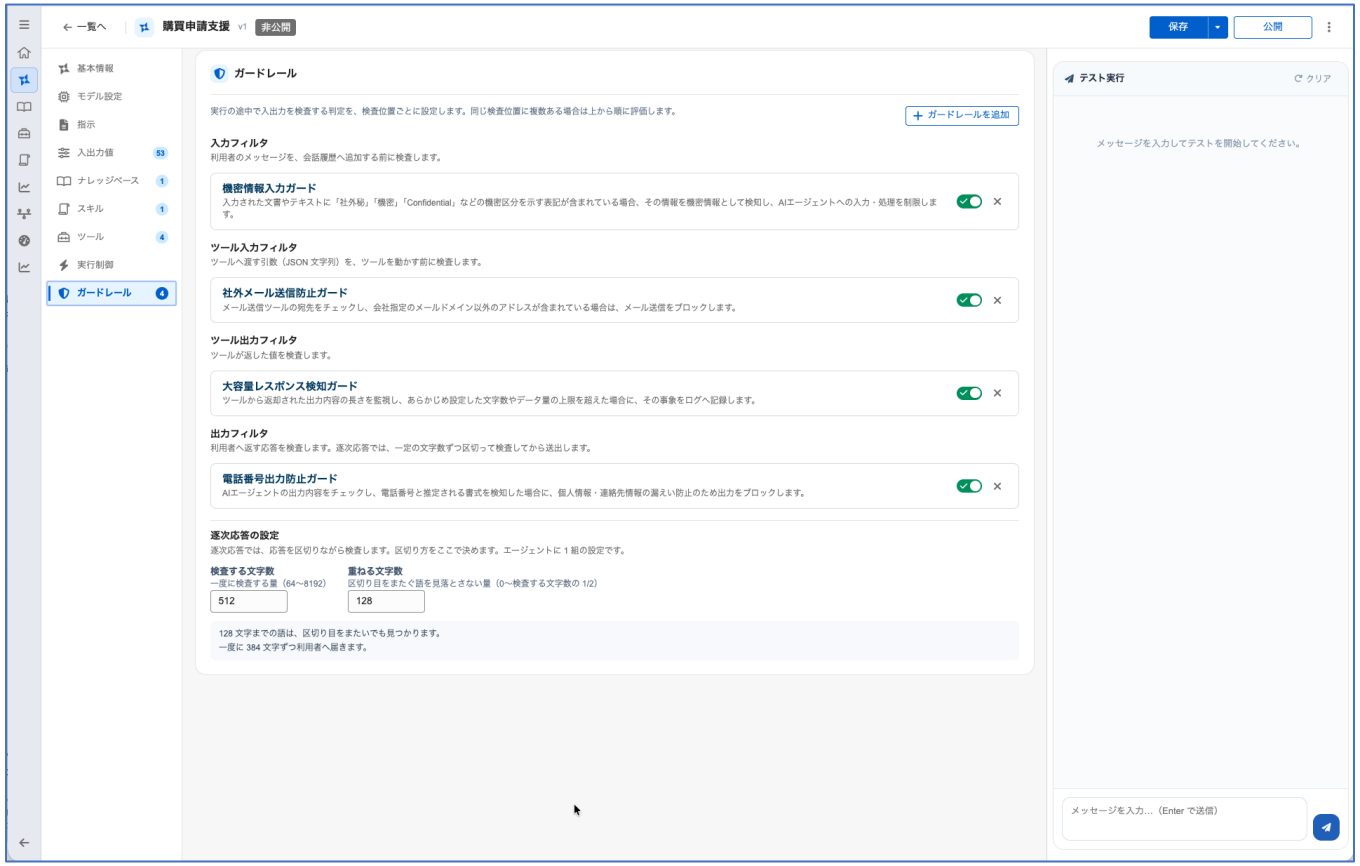
ポイント

- 品質を継続的に検証・改善

© INTRAMART CORPORATION

機能詳細⑥　ガードレール

エージェントの入出力、ツールの入出力を検査し、必要に応じて実行を停止、または、記録が可能です。



概要

- 入出力の安全機構を組み込む拡張ポイントを提供
- 誤用を防ぎ、実行時に自動で働く

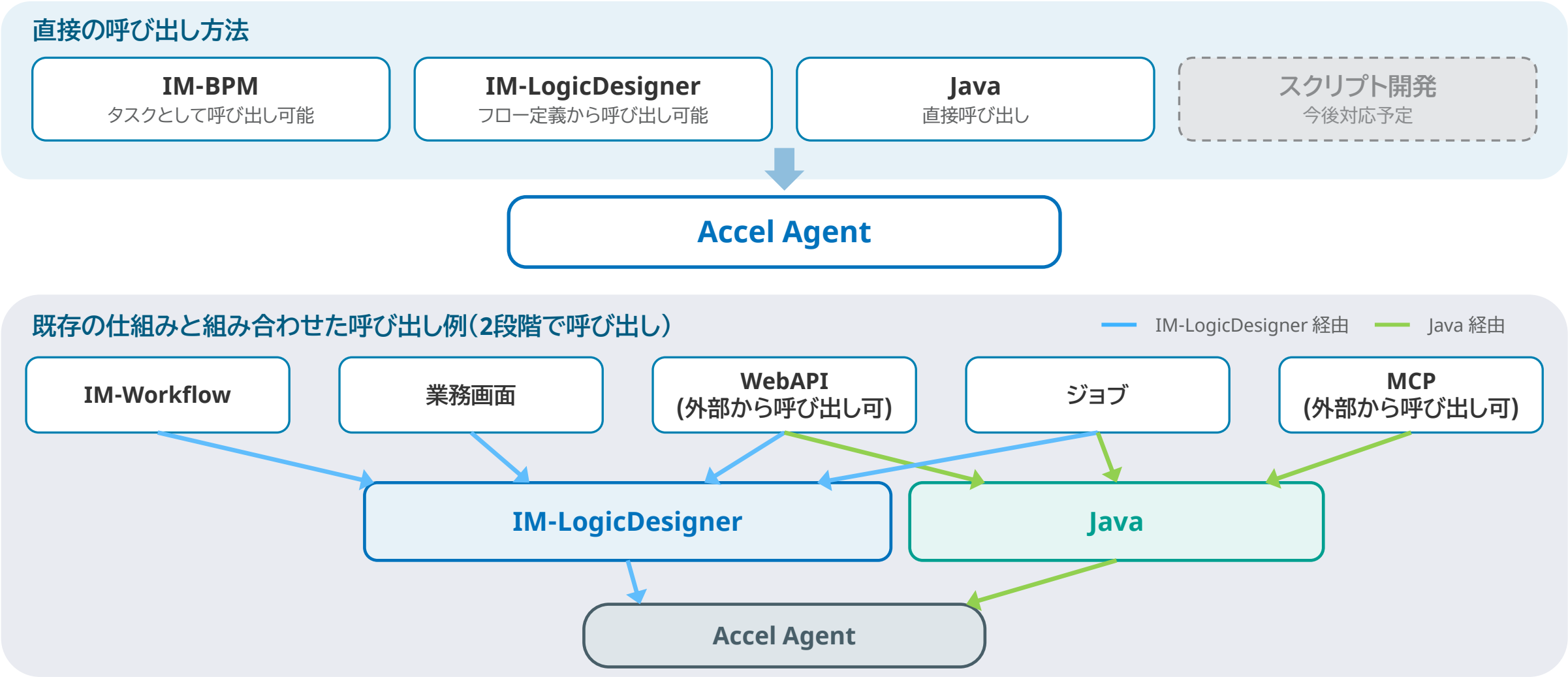
ポイント

- 安全の仕組みを製品が提供し、業務に合わせたルールを組み込める
- ※個人情報除去や有害コンテンツフィルタなどの具体的な処理は今後提供予定

© INTRAMART CORPORATION

Accel Agent呼び出しイメージ

業務プロセスや外部システムから、複数の経路を組み合わせてAccel Agentを呼び出すことが可能です。



© INTRAMART CORPORATION

ユースケース例：購買申請業務でのAIエージェントによるサポート

購買申請作成支援（ユーザー起動型）	担当者が見積書をアップロードすると、AIエージェントがOCR読み取り・勘定科目推定・理由文生成・承認見込み判定を行い、結果を画面表示。担当者の操作を起点に自動実行。確認・送信は必ず担当者が行います。 → 作成作業はAIが担い、担当者は確認と送信に集中

見積書をアップロード → ［AI申請支援］をクリック

Step 1　見積書の読み取り＆科目推定

- ✓ 品名・数量・金額を自動抽出（最大20明細）
- ✓ 購入先名・見積有効期限も取得
- ✓ 勘定科目を自動で推定

▶

Step 2　理由文を自動生成（3種類）

- ✓ 実施理由・背景（5W1H含む）
- ✓ 物品選定理由（スペック・過去実績）
- ✓ 購入先選定理由（価格・納期・実績）

▶

Step 3　承認見込みを判定

- ✓ 承認見込みスコア（0～100）
- ✓ リスク要因・深刻度（0～100）
- ✓ 改善提案（例：相見積もり推奨）

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

ユースケース例：購買申請業務でのAIエージェントによるサポート

各ステップで使うエージェント設定イメージ

Step 1　見積書の読み取り＆科目推定

- ✓ 品名・数量・金額を自動抽出（最大20明細）
- ✓ 購入先名・見積有効期限も取得
- ✓ 勘定科目を自動で推定

ツール

勘定科目マスタ検索　マスタから科目を推定

営業日情報取得　有効期限が営業日か判定

Step 2　理由文を自動生成（3種類）

- ✓ 実施理由・背景（5W1H含む）
- ✓ 物品選定理由（スペック・過去実績）
- ✓ 購入先選定理由（価格・納期・実績）

ツール

明細条件検索　品目名・案件名から類似の過去申請を検索

Step 3　承認見込みを判定

- ✓ 承認見込みスコア（0～100）
- ✓ リスク要因・深刻度（0～100）
- ✓ 改善提案（例：相見積もり推奨）

ツール

承認済み案件検索　過去の承認実績を参照

ナレッジベース

購買管理規定　金額基準・承認ルート等の社内規定

スキル

高額申請レビュー　高額申請は申請理由を厳しく確認

※ツール・ナレッジベース・スキルは本ユースケース用に作成したものであり、
標準機能として搭載しているものではありません。
（ツールは IM-LogicDesigner で作成）

© INTRAMART CORPORATION

ユースケース例：購買申請業務でのAIエージェントによるサポート

3つのステップのどこかが失敗しても、成功した結果と次の対応を表示し、業務を止めない設計にしています。

※エージェントの出力にステップごとの成否を持たせ、業務画面側で表示を出し分ける実装例です

Step 1	Step 2	Step 3	結果と表示メッセージ
✅	✅	✅	**すべての結果を表示**
✅	❌	スキップ	**OCR結果のみ表示** 「理由文を生成できませんでした」+ 空欄＋記入ガイド
✅	✅	❌	**OCR＋理由文を表示** 「承認見込みを計算できませんでした」→ 判定不可と表示
❌	—	—	**全体失敗** 「見積書の読み取りに失敗しました」→ 再アップロードまたは手動入力へ

タイムアウト時：「AI処理に時間がかかっています」→［待機］/［手動入力］を選択肢として提示

© INTRAMART CORPORATION

05

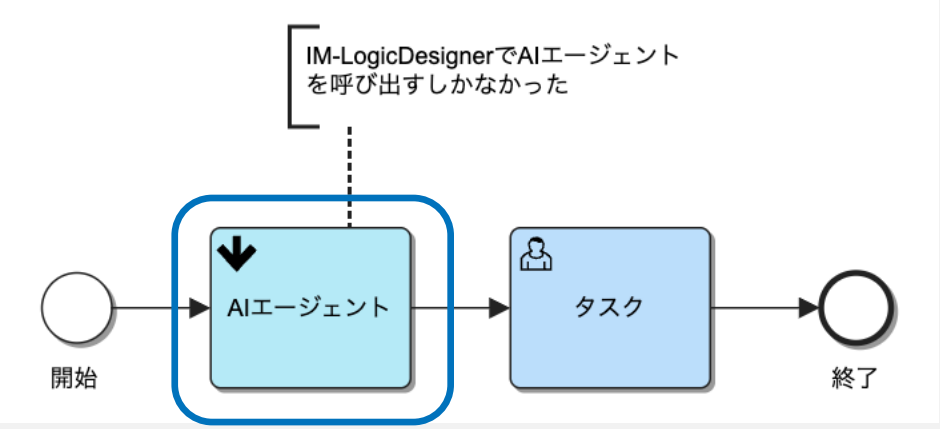
AI × 業務プロセス

© INTRAMART CORPORATION

IM-BPM Accel Agentタスク追加

IM-BPMにおいて、Accel Agentに対応するタスクを追加しました。

これまで



AIエージェント連携を表現できるタスクがなく、ユーザタスク等で代用する必要があり、業務上のどこでAIエージェントを組み込んでいるのかが分かりづらくなっていました。

2026 Autumn

視覚的にAIエージェント連携していることを表現した、AIエージェント向けのタスク・リスナを追加しました。

© INTRAMART CORPORATION

IM-BPM プロセスデザイナMCP対応

プロセスデザイナのMCP接続に対応します。
生成AIとIM-BPMプロセスデザイナを連携させ、ツールからプロセス図の作成、改善が可能になりました。

自然言語でプロセス図を作成

業務フロー要件の自然言語入力していくことで、BPMN化されていない業務のプロセス図が作成できる

現行プロセス図の解析

BPMNファイルから業務タスクの一覧として設計書を出力できる

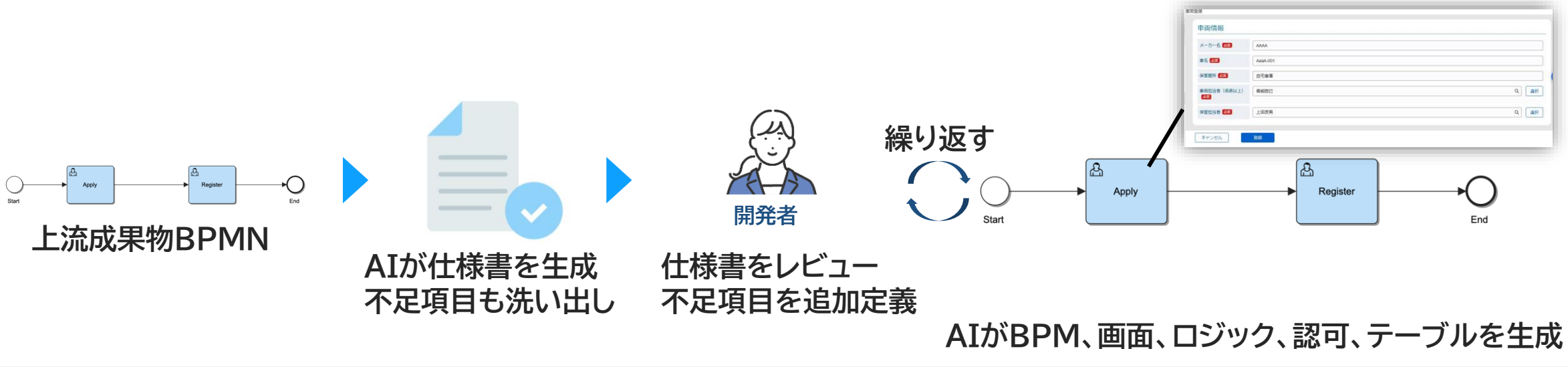
プロセス改善（To-Be策定）

既にあるプロセスに対して自然言語入力でプロセス図を変更できる

© INTRAMART CORPORATION

IM-BPM AIネイティブ開発を用いたBPMS作成

BPMS開発において、AIネイティブ開発（Accel Orbit）を利用したBPMSの作成が可能になりました。
仕様書の作成、検討不足項目の洗い出しに加え、確定した仕様書をもとにBPMSのプロトタイプが生成できます。



実装コスト低減

実装コストが業務改善のボトルネックになることが少なくなります。

AI活用による開発者支援

BPMS/スクリプト開発の学習コストが軽減し、設計/レビューに集中できます。

© INTRAMART CORPORATION

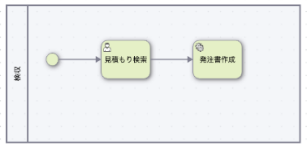
iGrafx Process360 LIVE利用によるTo-Be策定

iGrafx Process360 LIVEのプロセスマイニング機能を利用したAs-Is分析と、シミュレーション機能を利用したTo-Beプロセス検証により、改善効果を定量的に把握したTo-Be策定が可能です。
また、このiGrafx成果物であるBPMN図は、先述のAIネイティブ開発（Accel Orbit）へと連携できます。

AsIs-ToBe分析

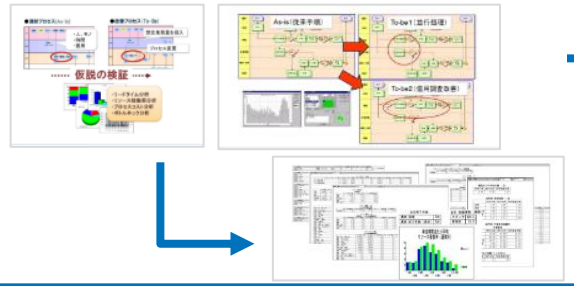
iGrafx®

業務プロセスを設計し、BPMN図を作成する



iGrafx®

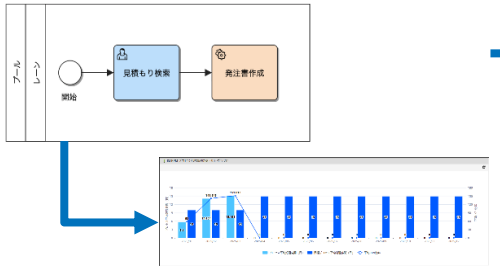
仮説検証型のシミュレーションを実行し、As-Isからの改善効果を把握する



運用・実行ログ収集

intra-mart Accel Platform

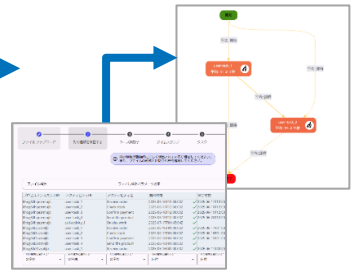
BPMN図の業務プロセスに従った業務システムを実装し、業務システムを運用してデータを収集する



分析

iGrafx®

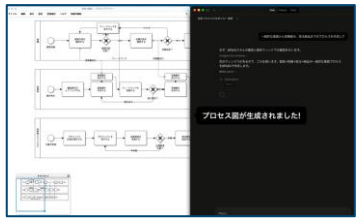
運用・業務データを分析し、ボトルネックを可視化（プロセスマイニング）



プロセス改善

intra-mart Accel Platform

分析結果をインプットにAIツールから改善BPMN図を作成し、運用/収集する。



bpmn ファイル

自動連携（API）

csv ファイル

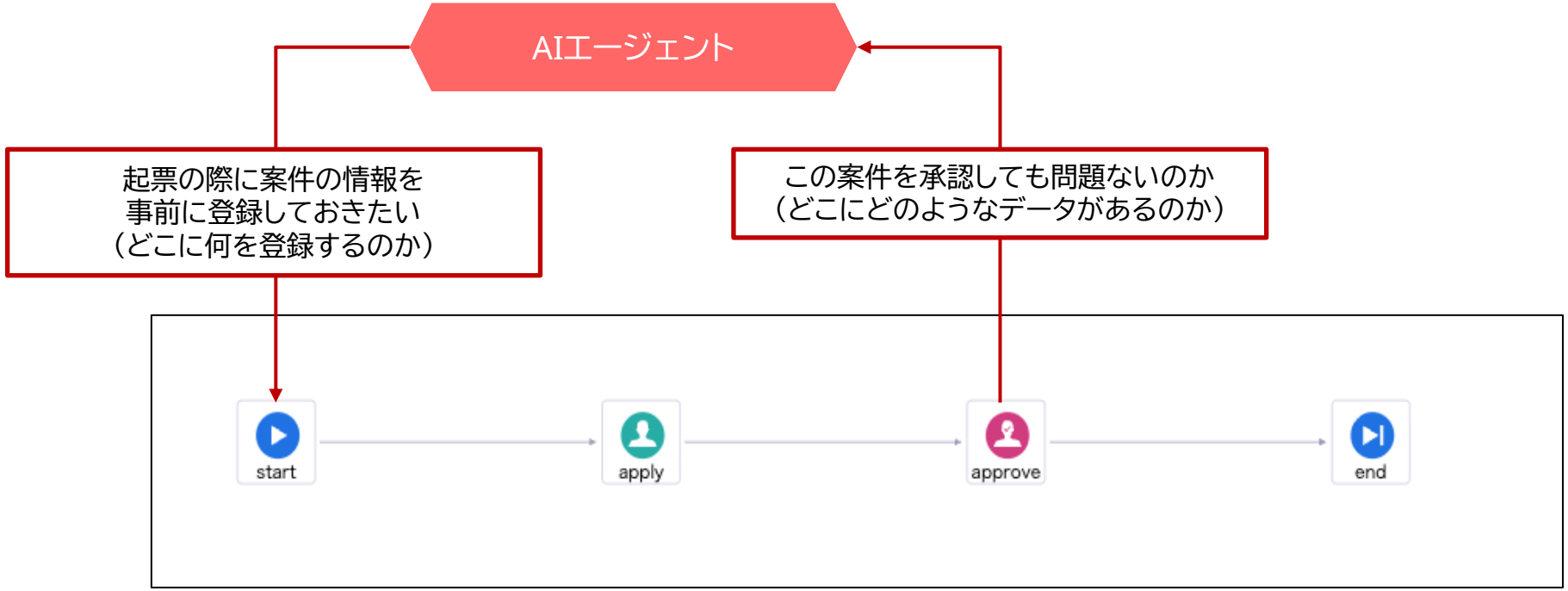
© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

ワークフロー ユーザデータメタデータ定義対応

AI向けにフローで扱っているメタデータを定義できるようにしました。

AIエージェントなどを使用して承認や起票を行えるよう、永続化データをベースとしてデータの所在や制約条件などを設定できるようになりました。



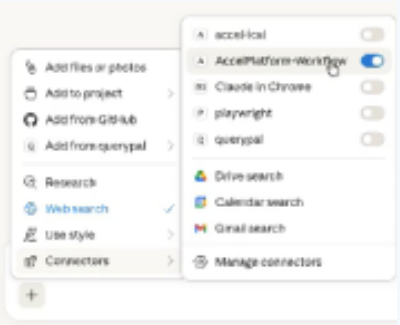
© INTRAMART CORPORATION

MCPサーバ機能活用によるAIツールからワークフロー起票イメージ

AIネイティブ開発セクションでご案内したMCPサーバ機能は、intra-martのAPI仕様やワークフロー定義に基づく回答・コード補助を受けられる機能を提供します。
intra-martのワークフローを外部AIツールからMCPで操作することが可能です。

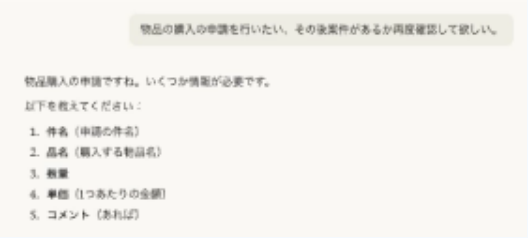
1

AIツールでワークフロー用のコネクタを有効化



2

やりたいことを入力すると、AIがMCPに登録されたWikiをみて、必要な項目をリストアップ



3

必要項目を回答し、AIの返答を確認して申請ボタンをクリック

4

案件一覧に案件が追加

© INTRAMART CORPORATION

2026 Autumnで強化/改善された主な機能のエディション別比較表

機能	Customer Success License			ASEAN		永続ライセンス			Accel-Mart Plus (*1)
	Basic	Advance	Professional	Pro-Code	Low-Code	Standard	Advanced	Enterprise	
AIネイティブ開発									
-アプリ生成	*2	*2	○	*2	○	*2	*2	○	*2
-デバッグサーバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Accel Agent		○	○		○		○	○	*3
IM-BPM									
-プロセスデザイナMCP対応	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4
-BPMS対応			○		○		*5	○	*5

その他の機能のライセンス・エディション別比較表につきましては「イントロダクション - 5.2 intra-martの製品構成」をご確認ください。
*1 2026年10月末に2026 Autumn対応予定
*2 コンテンツ(IM-Workflow、IM-BPM)が作成されます。
*3 全文検索サーバ/IM-Copilotオプション契約が必要
*4 IM-BPM プロセスデザイナはクライアントで動作するライセンス不要のツールです。
*5 IM-BPM for Accel Platformライセンス購入が必要

© INTRAMART CORPORATION

提供ツールについて

VS Code拡張機能、および、AIコンテキストはライセンス不要で利用可能です。

*コーディングエージェントは別途ご用意ください。
（Claude Code/Github Copilot/Codex）
*外部LLMは別途ご用意ください。
*生成できるコンテンツはIMDSとなります。（IMUIは対象外）
*AI ネイティブ開発支援モジュール（ホットデプロイ/ステージング管理）は
2025 Spring以上で利用可能です。
（2025 Spring、2025 Autumn、2026 Springはユーザモジュールを提供）

© INTRAMART CORPORATION

06

その他のアップデート

© INTRAMART CORPORATION

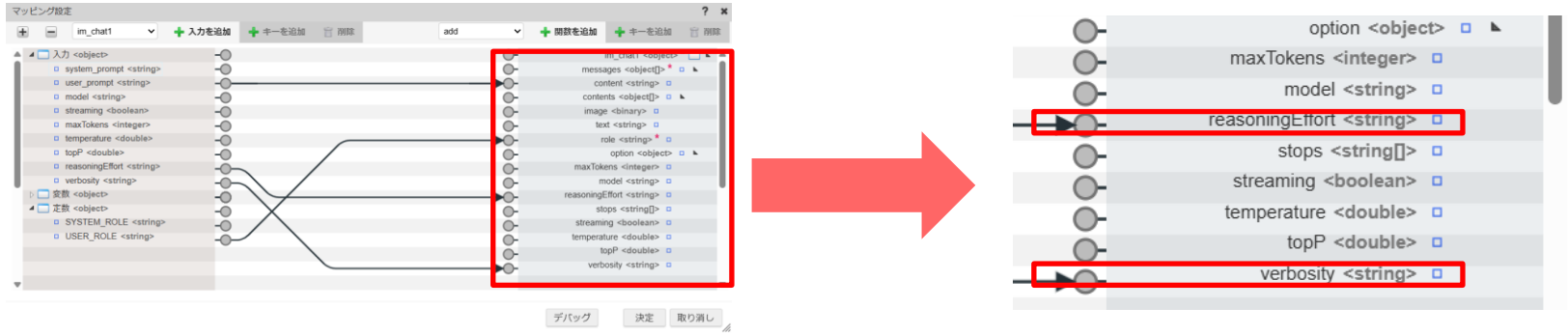
IM-Copilot

チャットアクションAPI 推論強度・応答詳細度指定

IM-Copilotのチャットアクション API において、推論の強度（reasoning_effort）と応答の詳細度（verbosity）を指定できるようになりました。

サービス	モデル	対応パラメータ
OpenAI / Azure OpenAI Service	GPT-5.1、GPT-5.2、GPT-5.4-nano、GPT-5.4-mini、GPT-5.4、GPT-5.5	reasoning_effort、verbosity
Amazon Bedrock	Claude Sonnet 4.6、Claude Sonnet 5	reasoning_effort のみ

LogicDesigner チャットタスクの利用イメージ



© INTRAMART CORPORATION

intra-mart

IM-Copilot

チャットアクション、埋め込みアクションのOpenAI互換API対応

OpenAI API互換のエンドポイントを持つ任意のサービスに接続するドライバを追加しました。
チャットアクション、埋め込みアクションで接続先が提供するモデルが利用可能になりました。

下記のサービスとモデルの組み合わせを「検証済み環境」としてドキュメントに記載しました。

生成AIサービス	バージョン	チャットモデル	埋め込みモデル
Ollama	0.32.5	gemma4:26b	embeddinggemma
vLLM	0.27.1	nvidia/Gemma-4-26B-A4B-NVFP4	intfloat/multilingual-e5-base

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

IM-Copilot

Amazon Bedrock ガードレール対応

SQLビルダアシスタント、及び、Accel Studioアプリケーション作成アシスタントがAmazon Bedrock ガードレールに対応しました。

これまで

Amazon Bedrockガードレール対応は チャットアクションとWiki アシスタントのみ
専用のmoderation機能がなく、システムプロンプトによる部分的な対応のみ

2026 Autumn

ViewCreator SQLビルダ アシスタント、Accel Studio アプリケーション作成アシスタントに専用のmoderation機能**（Amazon Bedrock ガードレール）による適切な内容チェック**が実行される

利用するには、AWS Console で ガードレール を作成する必要があります。

© INTRAMART CORPORATION

IM-Copilot

対応AIモデル情報の公開およびEOL対応

前シーズン同様に提供済みの最新バージョンに対して、動作確認が完了した対応モデル情報をIM-Copilot利用ガイドにて随時公開します。

対応モデル情報

公開タイミング	動作確認完了次第、随時
対象バージョン	提供済みの最新バージョン

EOL対応（デフォルトモデルのみ抜粋して紹介）

モデル名	関連機能	主な代替モデル
DALL･E	画像生成アクション	GPT-Image-1 Mini
Amazon Nova Canvas	画像生成アクション	なし※
Whisper	文字起こしアクション	GPT-4o Mini Transcribe
Claude 3 Haiku	チャットアクションなど、各種アシスタント	Claude Haiku 4.5

※ Amazon Nova Canvasは2026年9月30日にEOLとなりました。
Amazon Bedrockで利用できる唯一の画像生成モデルで、2026年9月時点で後続モデルが未発表のため、代替モデルを提供できません。
このような場合を含むEOL時の対応方針は、次ページをご確認ください。

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

IM-Copilot

AIモデルEOLに対するサポートポリシー

生成AIモデルがサポート終了（EOL）した際の対応方針をドキュメントで明確化しました

区分	サポート終了（EOL）時の方針
デフォルトモデル	各バージョンのリリースから1年間を対象に、EOLした場合は代替モデルを提供（生成AIサービス側の事情で提供できない場合あり）
サポートモデル	本方針の保証対象外。各生成AIサービスの公式ページ（Amazon Bedrock／OpenAI／Azure OpenAI Service）を参照

詳細はIM-Copilot利用ガイドを参照下さい。

IM-Copilot 利用ガイド

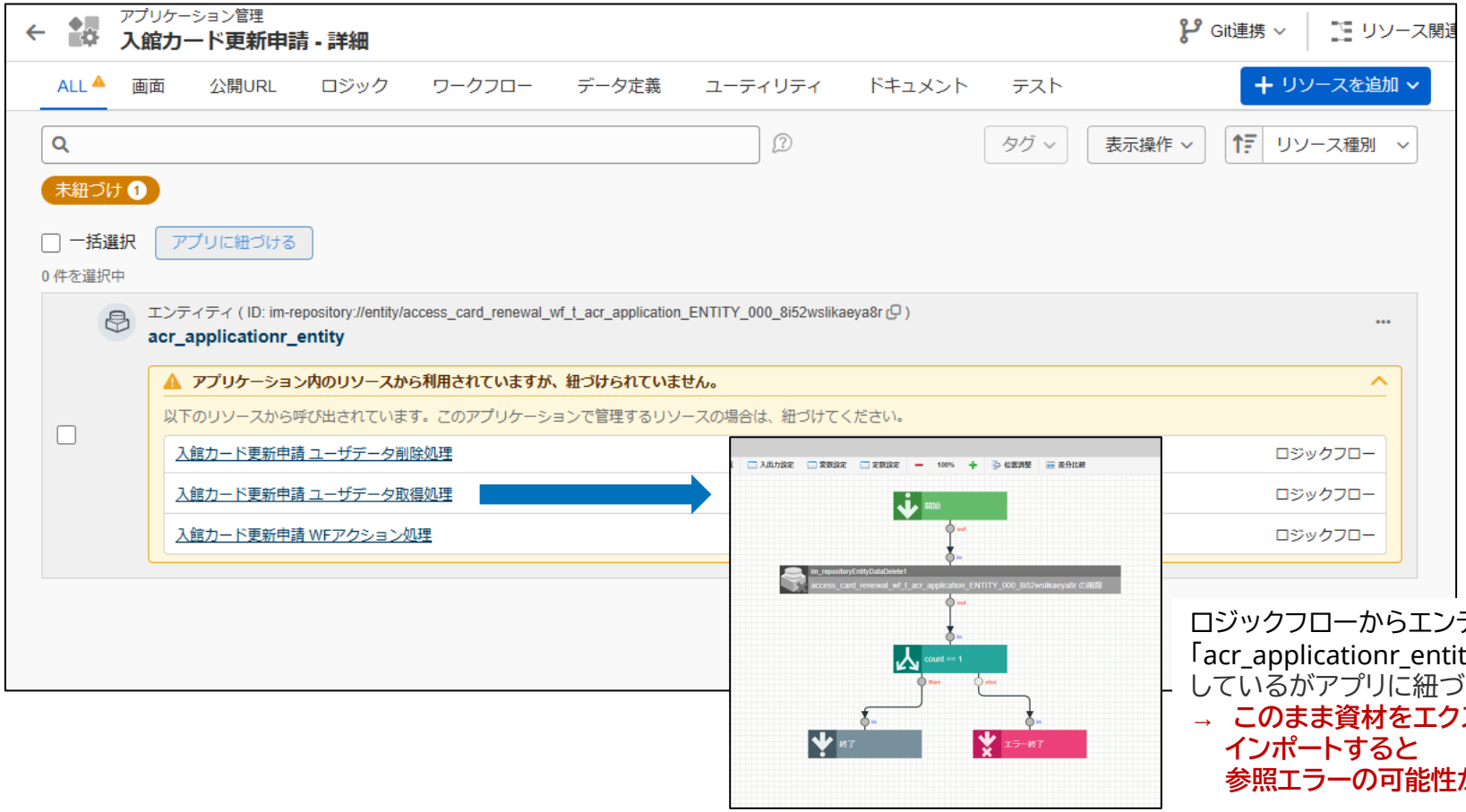
© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

Accel Studio

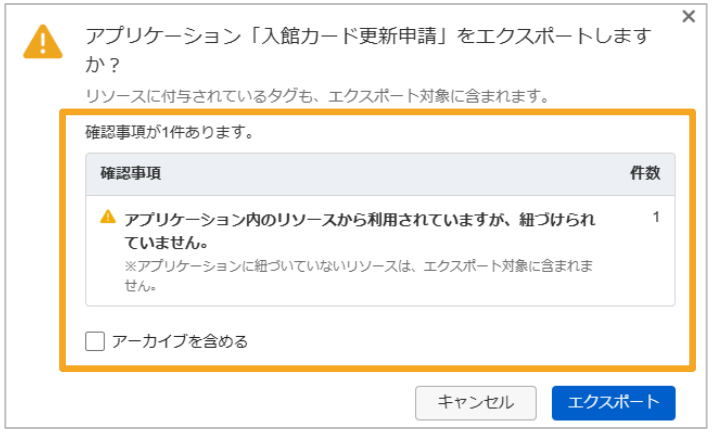
アプリケーションに紐づいていないリソースや存在しないリソース検知

Accel Studioのアプリケーション詳細画面、および、エクスポート時に、アプリケーションに紐づくリソースの参照先で、アプリに紐づかない、または、環境に存在しないリソースを容易に確認できるようになりました。
また、アプリケーション詳細画面から紐づけ漏れを一括でアプリケーションに紐づけ可能です。



ロジックフローからエンティティ「acr_applicationr_entity」を参照しているがアプリに紐づかない
→ このまま資材をエクスポート・インポートすると参照エラーの可能性が高い

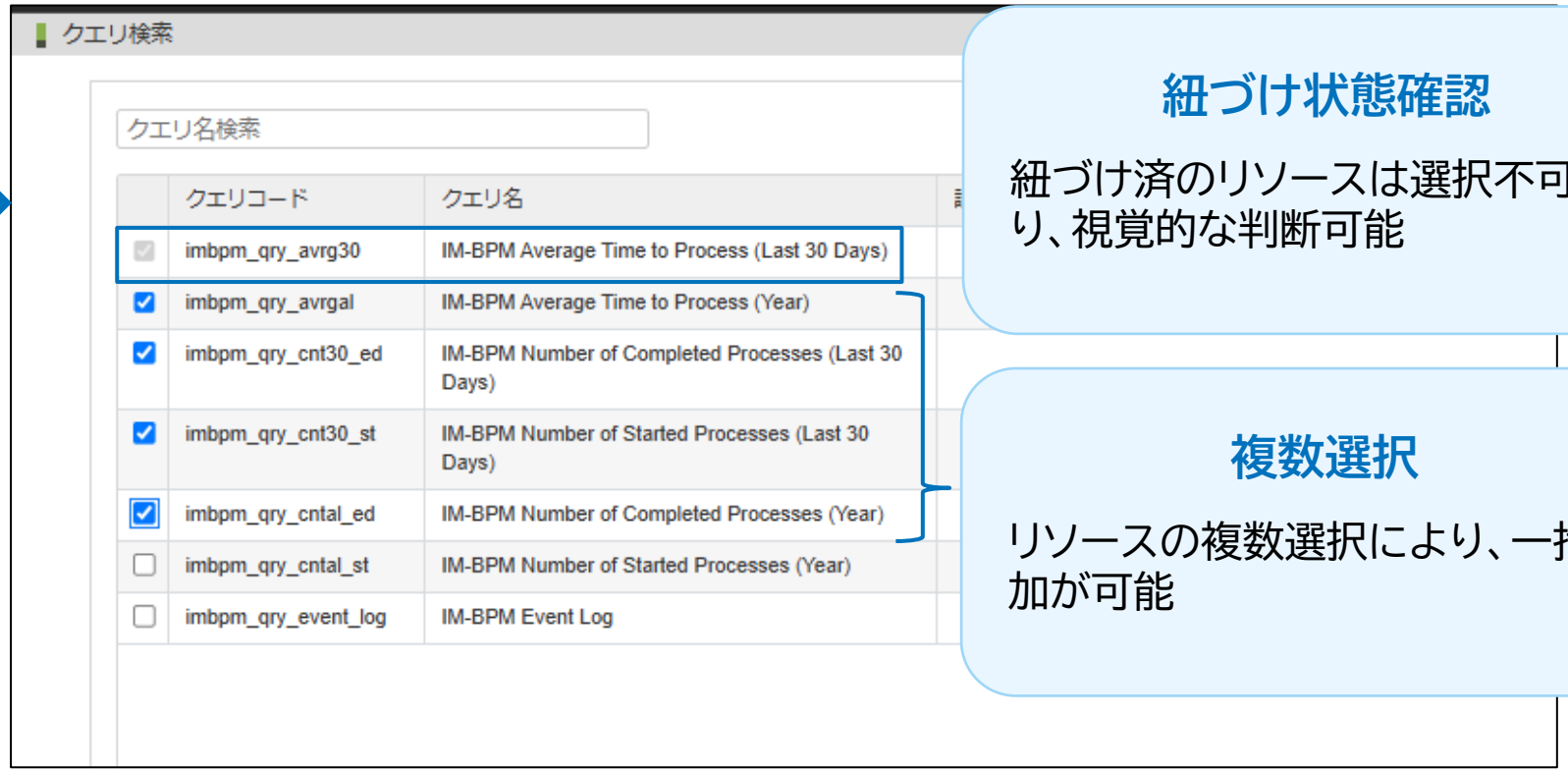
エクスポート時にもワーニングを表示



Accel Studio

リソース管理改善(クエリ・採番定義)

Accel Studioのアプリケーションへの既存リソース追加において、ViewCreator(クエリのデータ参照・クエリのURL・クエリ)とユーティリティ(採番定義)のすでに紐づけ済みのリソースが一目で分かるように表示し、複数選択ができるように改善しました。



紐づけ状態確認

紐づけ済のリソースは選択不可となり、視覚的な判断可能

複数選択

リソースの複数選択により、一括追加が可能

© INTRAMART CORPORATION

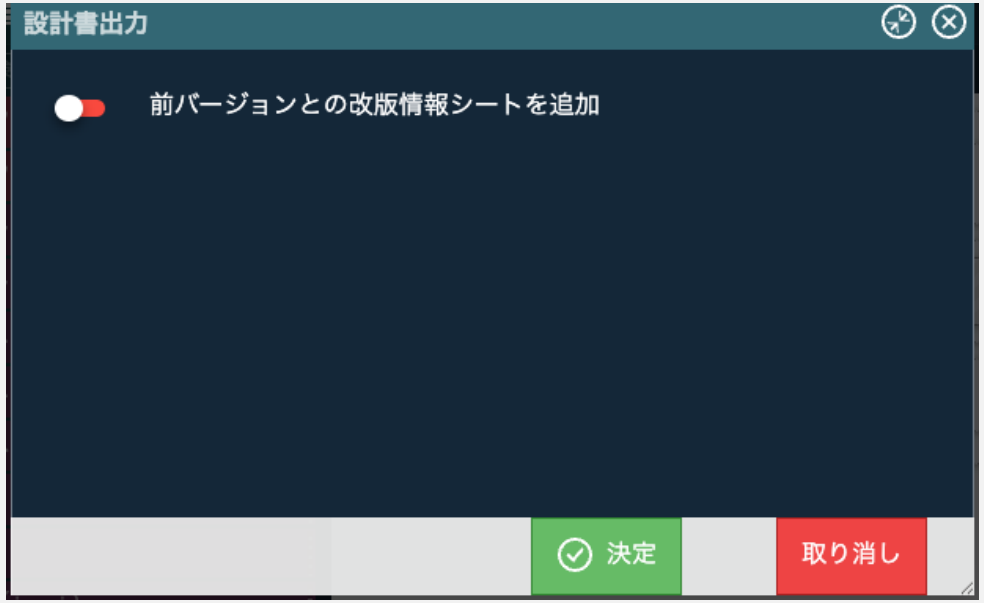
intra-mart

IM-BloomMaker

設計書出力項目

設計書出力機能において、出力対象を選択した項目のみを出力できるようになりました。

これまで



すべての項目を一律出力しており、パフォーマンスに問題がある場合がありました。

2026 Autumn

出力が**必要な項目を選択**ができるようになりました。

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart

IM-LogicDesigner

SAMLユーザマッピング登録対応

IM-LogicDesignerタスクからSAML ユーザマッピングを登録可能にします。

これまで

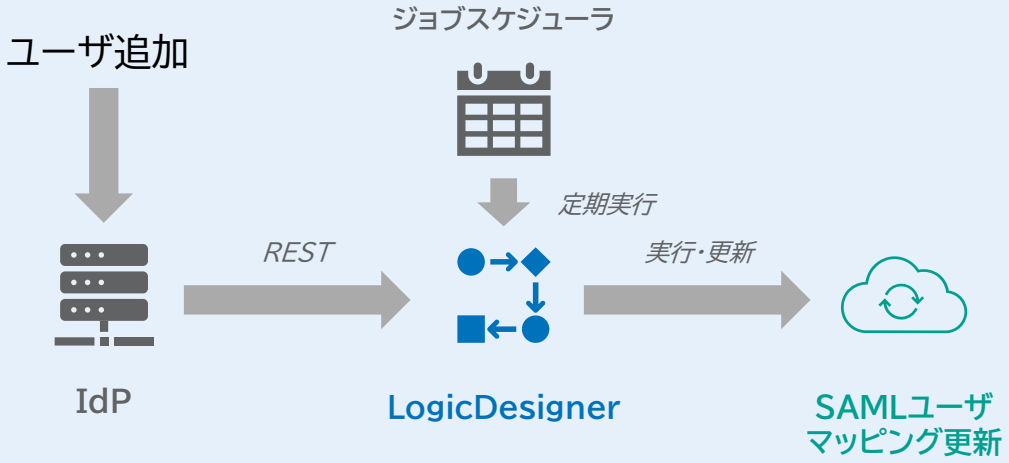
画面から手動で
登録する

手動でCSVを
アップロードして
インポート

Java APIを
利用して実装

Java実装のハードルが高く、手動操作で運用するケースもあった。

2026 Autumn



LogicDesignerタスクを追加し、ローコードでもユーザマッピング情報を更新できるようになります。
ジョブやRESTからの実行など柔軟に実装できます。

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart

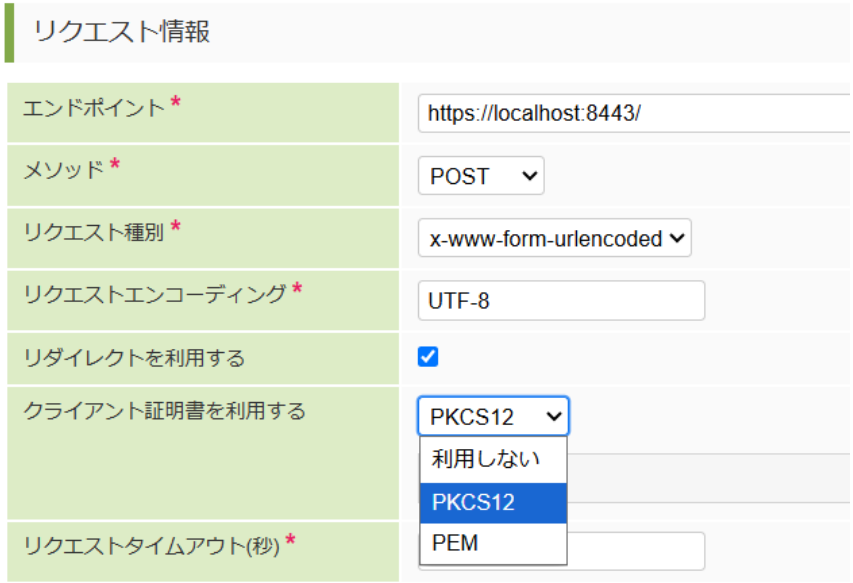
IM-LogicDesigner

REST定義クライアント証明書認証対応

IM-LogicDesignerのREST定義において、クライアント証明書認証に対応しました。
PKCS12とPEM形式のクライアント証明書認証を、e.g.、SAP Public Cloudなど外部システムとの連携を容易にします。

Step1

REST定義 編集画面で利用する証明書の形式を選択します。



Step2

証明書のデータを REST定義 の入力とマッピングします。

© INTRAMART CORPORATION

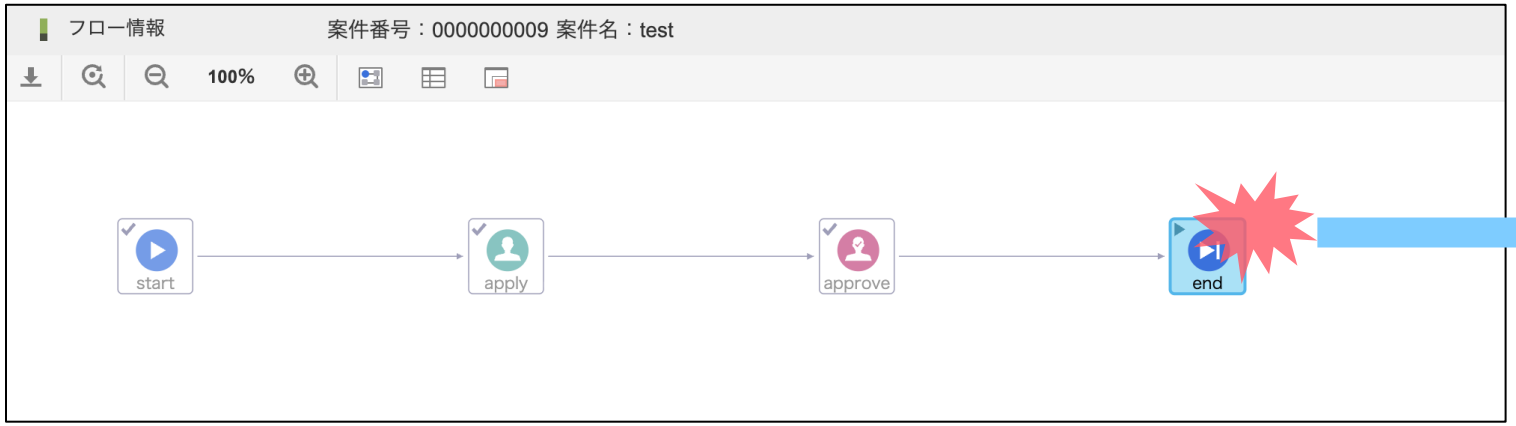
IM-Workflow

案件終了処理エラー時通知

終了ノードで停止している案件を検出するジョブを提供します。

案件終了処理がエラーとなった場合、ログにエラーを出力して終了ノードで停止する仕様であるため
該当案件を確認しないとエラーが発生していることに気がつけませんでした。

機能強化により、検出結果を通知として受け取れるように対応しました。



検出結果通知

エラーになっていることをユーザが
気が付けるよう検出結果を通知

IM-Workflow

ダイアログラベルの変更

一時保存した案件を案件一覧から開く場合のダイアログラベルを変更しました。

これまで

ダイアログのボタンのラベルが「申請」になっており、「これを押してしまうとそのまま案件が申請されてしまうのではないか。」という誤解が生じていた。

2026 Autumn

ボタンクリック後の動作がイメージできるラベルに変更しました。

© INTRAMART CORPORATION

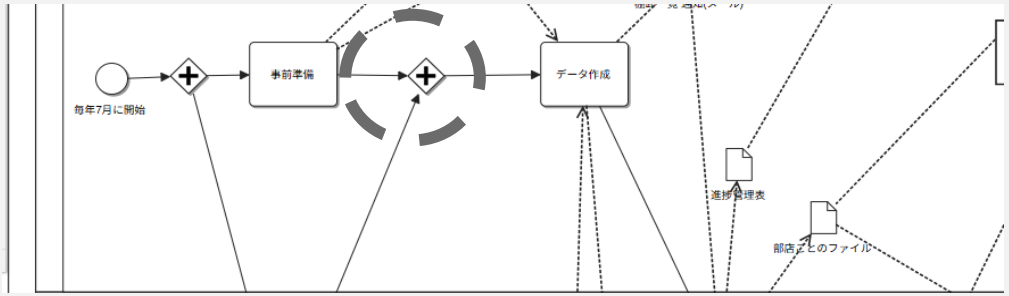
intra-mart

BPM IM-BPM

iGrafxからのBPMNインポート強化

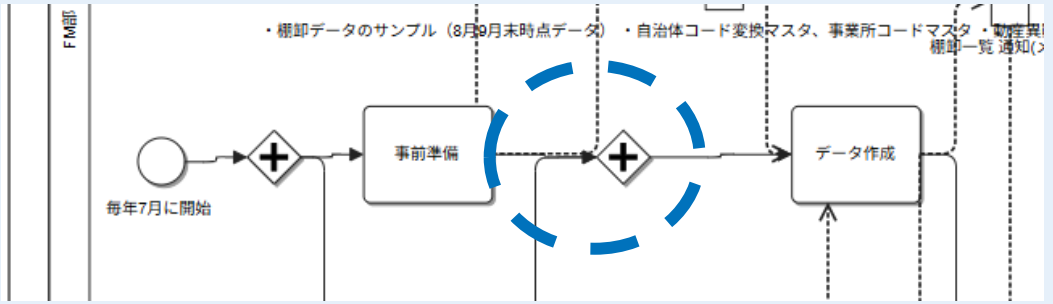
iGrafxからBPMNのコネクションをカギ線でインポートできるようになりました。

これまで



iGrafxで作図したプロセス図をインポートすると、コネクションが全て直線になってしまい、不要なメンテナンスが発生していた。

2026 Autumn



コネクションを**カギ線でインポート**可能になりました。

※元のコネクション形状の折れ線位置を変更している場合、
その完全な再現はできません。

© INTRAMART CORPORATION

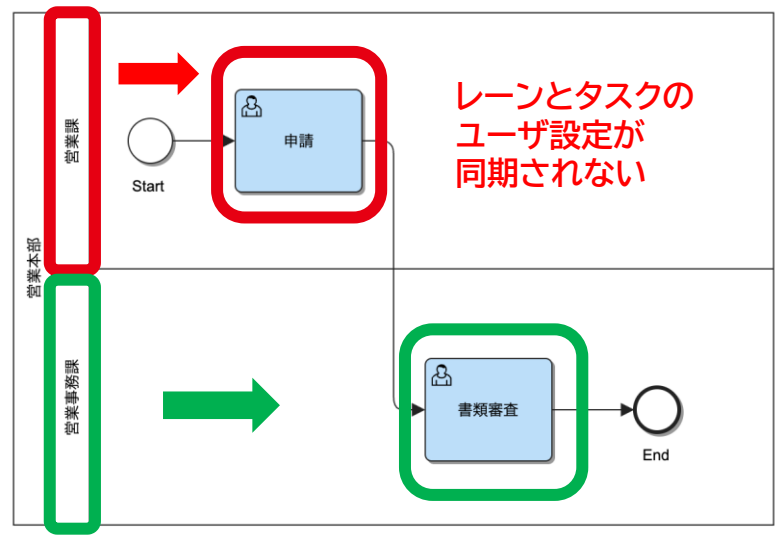
intra-mart®

IM-BPM

プール・レーン設定の配下タスク自動同期

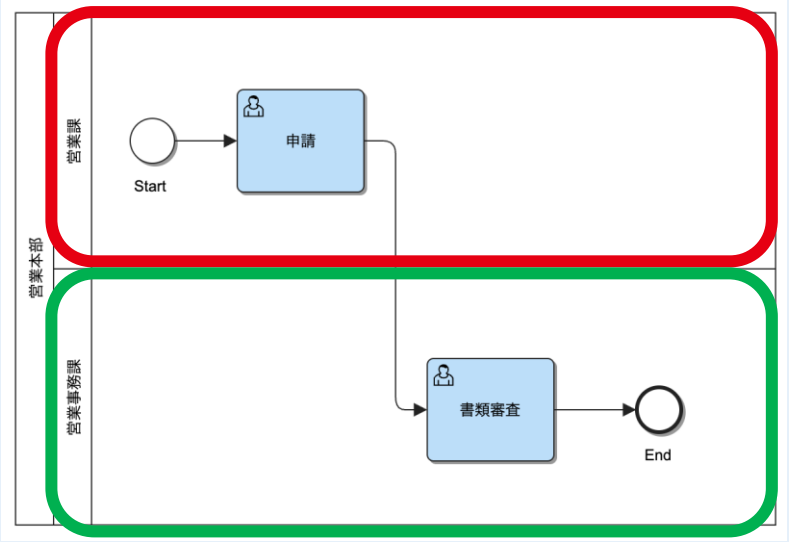
レーンに処理対象ユーザ/グループを設定した際に、そのプール内のタスクにも設定が同期されます。

これまで



レーン、レーン内のタスクそれぞれに設定が必要であり、タスク数が増えるごとに保守工数が増加し非効率でした。

2026 Autumn



プール・レーンの設定を配下のタスクに自動で同期されます。
操作工数削減・整合性を担保します。

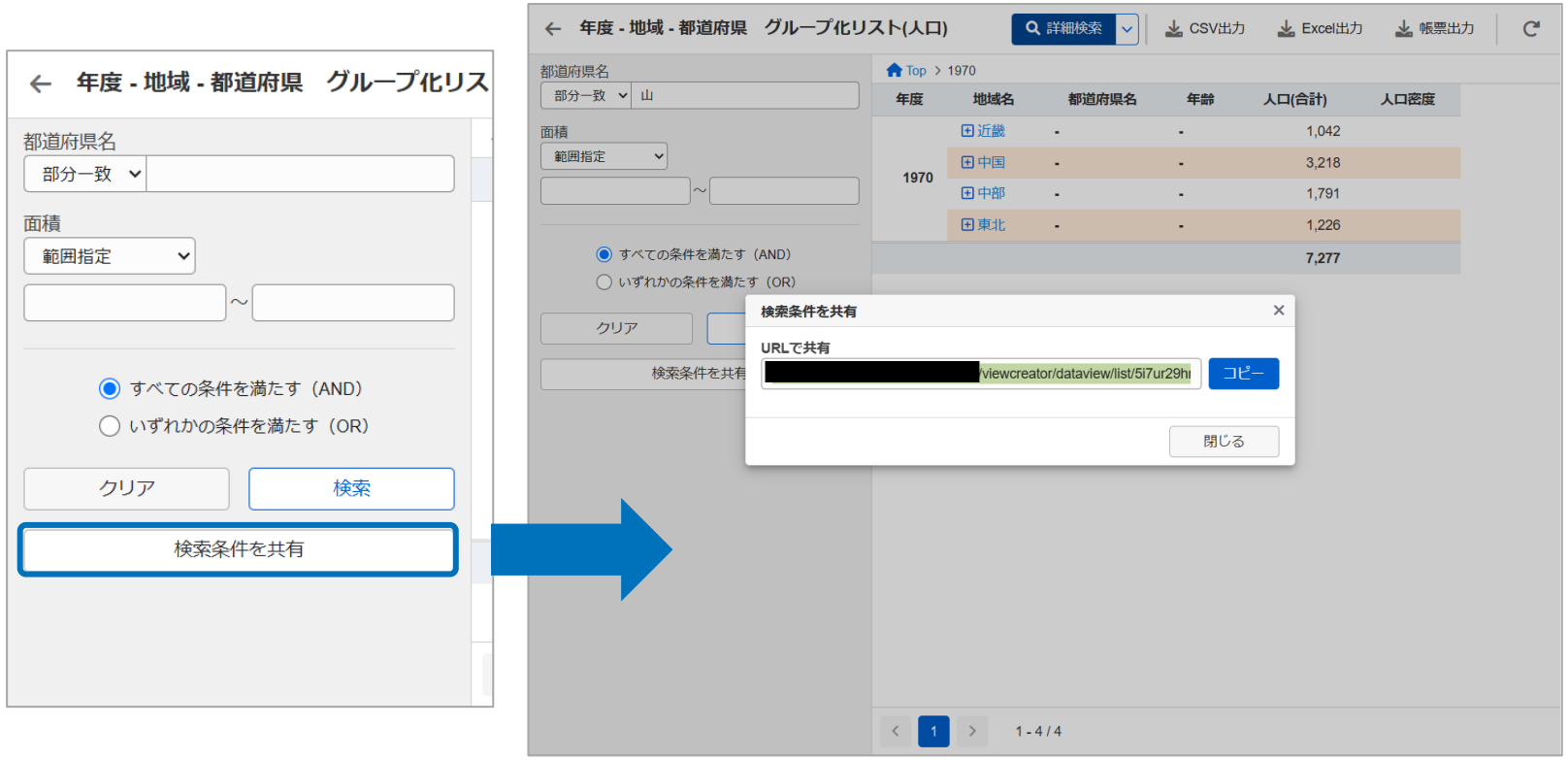
© INTRAMART CORPORATION

intra-mart

ViewCreator

検索条件・ソート条件保持共有

データ参照の検索条件やソート列情報を保存し、URLで共有できるようになりました。



検索条件・ソート条件を含めて共有

見てほしい状態をそのまま相手に渡すことができるようになりました。

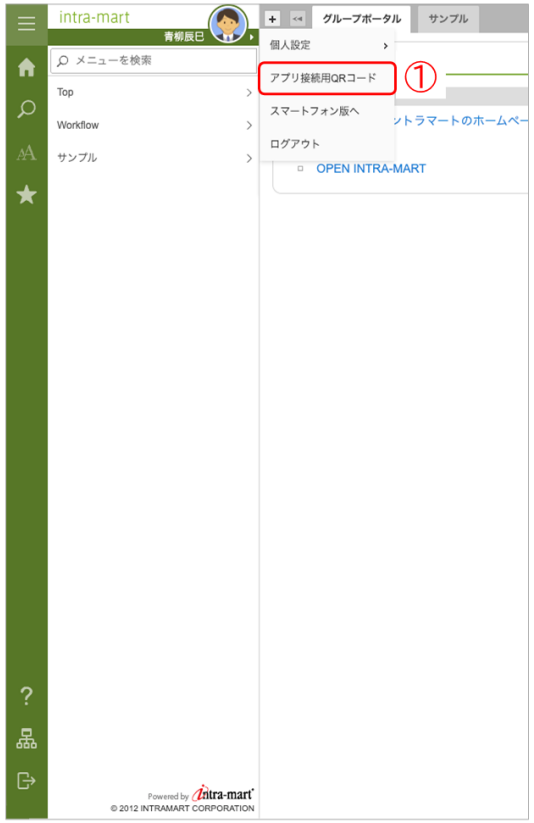
© INTRAMART CORPORATION

intra-mart

intra-mart Accel Platform Mobile

接続先URLの入力を補助

接続先URLの入力を補助する2次元バーコード表示機能を追加しました。



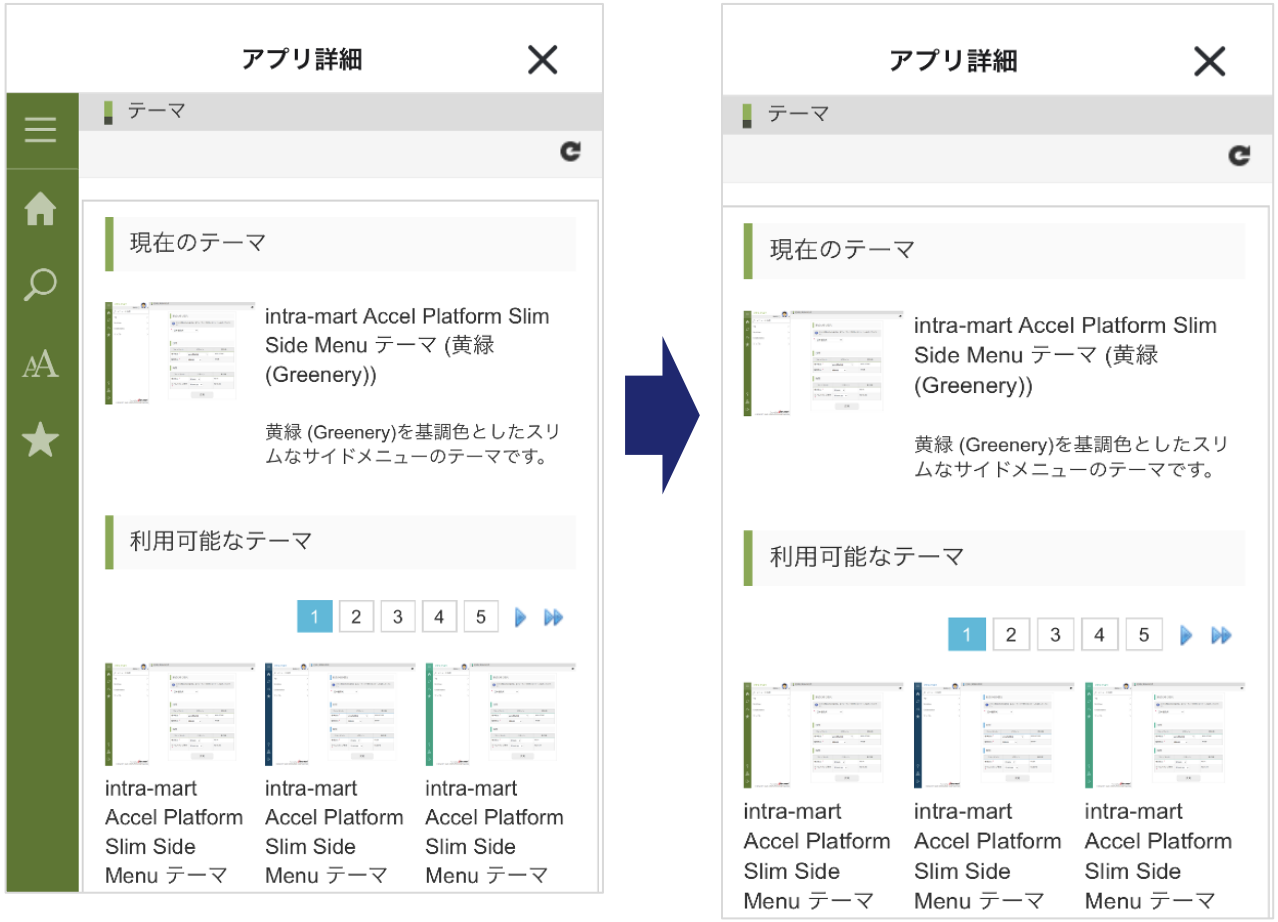
管理者、利用者の手間省力化

接続先URLの手入力が不要になりました

intra-mart Accel Platform Mobile

グローバルナビ表示制御

WebViewに遷移した際のグローバルナビを表示しないように改善しました。



視認性、操作性向上

グローバルナビ非表示によりコンテンツの表示領域が大きくなりました

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

intra-mart Accel Documents

セキュリティ定義対応

キャビネット管理者によるセキュリティ定義の新規作成が可能になりました。

これまで

2023 Autumn以降、Secure Download Option廃止に伴い、セキュリティ付きPDFや配布制限付きPDFが利用できなくなっています。

Secure Download Option廃止により、キャビネット管理者でセキュリティ定義の新規作成を行えないようにしておりました。

2026 Autumn

『iAD+IM-PDFCoordinator連携＋IM-PDFAutoConverter連携』の組み合わせにて、セキュリティ定義を作成し利用することで、**セキュリティ付きPDFのダウンロードが行えるようになります。**

※IM-PDFCoordinatorアプリケーションがJugglingに含まれている場合に利用可能な機能です。

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart

お問い合わせ

- 当資料は、アップデートの主要トピックスに限定した説明資料です。
  アップデートに関する情報は、要件情報公開サイトをご参照下さい。
  - ▶ https://issue.intra-mart.jp/
- システム要件や制限事項につきましては、各製品のリリースノートを必ずご確認下さい。
  - ▶ https://www.intra-mart.jp/document/library/

intra-mart Accel Platform

intra-mart Accel Applications

当資料に掲載されている当社の商品・サービス名称等は当社の商標又は登録商標です。
その他の会社名・商品名・サービス名などは各社の商号・商標又は登録商標です。

ご質問等ございましたら、下記へお問い合わせください。

intra-mart®

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
セールス＆マーケティング本部

Region / 地域	E-mail	Web
日本	contact@intra-mart.jp	https://www.intra-mart.jp/
Global	info@intra-mart.com	https://www.intra-mart.com/

intra-mart®

07

FAQ / Appendix

© INTRAMART CORPORATION

FAQ(よくあるご質問) 1

Q アップデートは必ず実施する必要がありますか？

A 必須ではありませんが、セキュリティ強化や新機能の利用、最新の動作環境への対応のため、定期的な実施を強く推奨しています。
特に、サポート期限が切れたミドルウェア製品を使い続けることは、セキュリティリスクにつながる可能性があります。
製品リリースノート記載外やサポート終了のミドルウェアをご利用される場合は、弊社サポート対象外または「条件付きサポート」となります。詳しくは「製品リリースノート記載以外の動作環境について」をご確認ください。

Q アップデートを適用する場合、今までのアプリケーションはそのまま使えますか？

A 製品標準機能は弊社の動作保証範囲内です。ただし、お客様やパートナー様が開発・カスタマイズされたアプリケーションは弊社の動作保証の範囲外となります。詳細は「アップデート・パッチにおける動作保証範囲」をご確認ください。
また、アップデートごとに仕様変更や制限事項の変更が実施される場合がありますので、適用前に必ずアップデート対象のバージョンのリリースノートをご確認いただき、開発・カスタマイズされたアプリケーションやモジュールに影響がないかを検証(動作確認テスト)していただく必要があります。

© INTRAMART CORPORATION

FAQ(よくあるご質問) 2

Q アップデートは有償ですか？

A アップデートの実施には保守サービスの有償契約が必要となります(※)。
保守契約期間及びライセンス期間が有効期間であるかを必ずご確認ください。
ただし、利用するライセンスの変更、エディションの変更(エディションアップ)などは費用が発生する場合があります。
※カスタマーサクセスライセンス、Accel-Mart Plusの場合は利用料金に含まれています。

Q アップデートは定期的にリリースされていますか？

A 基本的に年2回(4月、10月)リリースしています(2026年10月現在)。
なお、アップデートとは別に、緊急性の高いセキュリティ対応や不具合修正のためにパッチが随時提供されることもあります。

- 製品アップデートに関するその他の情報やよくあるご質問につきましては、下記サイトも合わせてご確認ください。
  - ▶ バージョンアップ、アップデートの手引き
  - ▶ 製品保守ポリシーとアップデート・パッチの考え方
  - ▶ intra-mart製品サポートサイト
  - ▶ Accel-Mart Plusサポートサイト (Accel-Mart Plusをご利用の場合)

© INTRAMART CORPORATION

その他のアップデート内容

その他の、2026 Autumnで実施された主なアップデートの概要は以下の通りです。
詳細は各機能・製品のリリースノートまたは要件情報公開サイトをご確認ください。

IM-Copilot

- 文字起こしアクション API で gpt-4o-transcribe シリーズを利用可能にしました。
- SQLビルダアシスタントを gpt-5.x に対応しました。
- SQLビルダ アシスタントが Amazon Bedrock ガードレールに対応しました。
- Wiki アシスタントで利用可能なモデルに GPT-5.4シリーズ、GPT-5.5 を追加しました。
- Wikiアシスタント で利用可能なモデルに Claude Sonnet 5、Claude Haiku 4.5 を追加しました。

► intra-mart Accel Platform リリースノートはこちら

Accel Studio

- Git連携機能においてアプリケーションのzipファイルをアップロード対象に含めないモードを追加しました
  アップデート後のデフォルト設定は false(アップロードなし) となります。引き続きzipファイルをアップロードされたい場合は設定ファイルの変更が必要です。

► Accel Studio リリースノートはこちら

© INTRAMART CORPORATION

その他のアップデート内容

ViewCreator

- SQLクエリの実行タイムアウト秒数を指定できるようにしました。
  設定秒数超過で自動キャンセルし、データベースのリソースの圧迫を回避します。
- テーブル一覧画面から、レコード編集画面を別タブで開けるようにしました。

► intra-mart Accel Platform リリースノートはこちら

その他の製品・エクステンションシリーズ

- ドキュメントライブラリの最新リリースノート、または、要件情報公開サイトをご確認ください。

© INTRAMART CORPORATION

2026 Autumnアップデート対象 OEM製品

以下の製品は2026 Autumnでアップデートが実施されます。

アップデート対象のOEM製品

- intra-mart Accel Archiver
- intra-mart Accel Kaiden!
- IM-PDFAutoConverter
- IM-PDFCoordinator
- IM-PDFDesigner / IM-PDFDesigner Fullpack
- IM-PDFDirectPrint
- IM-PDFTimeStamper
- intra-mart Accel Collaboration アンケート
- intra-mart Accel GroupMail

※ 社名変更対応のため、バージョン番号があがります。

※ intra-mart Accel Kaiden! に関して、アップデートは行いませんが、社名変更対応は実施します。
iAP 2026 Autumn選択時にアプリケーションを選択できるようにいたします。

© INTRAMART CORPORATION

システム要件の変更

サーバ要件

〔サポート対象追加〕

- Amazon RDS for SQLServer

〔サポート対象削除〕

- Amazon Linux 2
- Microsoft SQL Server 2016

クライアント要件

〔バージョン更新〕

- クライアントOS/クライアントブラウザ
  各最新バージョンに追随(※)

※詳細はリリースノート(製品ドキュメントサイト)をご確認ください
https://document.intra-mart.jp/library/iap/public/iap_release_note/index.html

実行エンジン

- **Rhino のバージョンアップ:** JSSP の実行エンジンを Rhino 1.7R4 から Rhino 1.7.15.1 へ更新

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

既存ユーザーへの影響：アップグレード時の確認ポイント

確認ポイント

システム要件・開発プロセスの変更	・Amazon Linux 2がサポート終了 → Amazon Linux 2023などへの移行が必要 ・Microsoft SQL Server 2016がサポート終了 → 2017以降へのアップデートが必要 ・開発ツールがe BuilderからVS Codeに変わります（セットアップCLIで簡単移行可能） ※e Builderのサポートは継続 ・仕様書駆動開発（SDD）を採用する場合、チームの開発プロセス見直しが必要 CI/CDパイプラインは導入ガイドの提供です（自動適用ではありません）
移行時の注意点	DBバージョン変更は、早期に計画・テスト期間を確保してください VSCode移行は段階的に実施可能です（e Builderとの併用期間はご相談ください） MCP機能・Accel Agentの導入は任意です（既存運用への強制的な変更はありません） Rhino のバージョンアップ（1.7R4→1.7.15.1）

© INTRAMART CORPORATION

2026 Autumnで連携可能な生成AIサービス・利用条件

連携可能な生成AIサービス

- OpenAI (※1)
- Azure OpenAI Service (※1)
- Amazon Bedrock (※2)

- 各サービスは別途契約が必要です。
- 各サービスを複数利用(併用)できません。
  サービスごとに利用可能な機能が異なります。(次ページの機能対応表を参照)

利用条件

対象エディション

- 【カスタマーサクセスライセンス】
  - アドバンスエディション
  - プロフェッショナルエディション
- 【永続ライセンス】
  - アドバンストエディション(※3)
  - エンタープライズエディション(※3)
- 【ASEAN地域向けライセンス】
  - ローコードエディション

※1: intra-mart Accel Platform 2024 Spring以降のバージョンで環境を作成する必要があります。
※2: intra-mart Accel Platform 2024 Autumn以降のバージョンで環境を作成する必要があります。
※3: 2025 Spring以降でご利用いただけます。2024 Autumn以前の永続ライセンスのエディションではご利用いただけません。

© INTRAMART CORPORATION

生成AI連携機能(IM-Copilot)を利用する場合の注意事項

ベクトルデータベースについて

IM-CopilotでRAG機能を利用する場合、ベクトルデータベースの追加が必要となります。
サポート対象は下記の2製品です。

- Apache Solr 9.6 (※1)
- pgvector (※2)

(※1)2024 Spring以前でSolrをご利用の場合(IM-ContentsSearchご利用者)、バージョンアップが必要になります(8→9)。
(※2)すでにPostgreSQLをご利用の場合、エクステンションの追加が必要になります。

生成AIサービス 機能対応表

	Wikiアシスタント	SQL自動生成 (ViewCreator)	Accel Studio アシスタント/テスト機能	IM-LogicDesigner IM-Copilot関連タスク
OpenAI	○	○	○	○
Azure OpenAI Service	○	○	○	○
Amazon Bedrock	○	○	○	○

© INTRAMART CORPORATION

intra-mart®

その他の提供内容

「ミドルウェア対応ロードマップ（2026Autumn-2029Spring）」

intra-mart Accel Platformに対応するのミドルウェア製品について、今後三か年でどのような対応をしていくか整理した「ミドルウェア対応ロードマップ（2026Autumn-2029Spring）」は近日中の公開を予定しております。

資料は弊社コミュニティサイトicoNEOに掲載します。

- icoNEO - Partner’s Room/製品・サービス資料

© INTRAMART CORPORATION

アップデートに関する重要なお知らせ

近年のJava/APサーバご利用状況、および外部Javaライブラリのベースライン引き上げ傾向を鑑み、
2027Autumnアップデート以降のシステム要件を以下とする計画をしております。

1. Javaベースラインを17以上へ引き上げ(Java17/21の最終決定は2027年3月に別途判断)
2. APサーバをResinに集約

〇詳細ご案内:Javaベースライン引き上げ、アプリケーションサーバ集約変更の事前のご案内(2027年後半以降の製品リリースに関して) - intra-mart support
〇報告書:https://accel.im/7xco7w98

概要

現状

Java バージョン	Java 8	Java 11
	Java 17	Java 21
APサーバ	Resin	WebLogic
	Payara	WebSphere

2027Autumnアップデート

Java バージョン	Java 17	Java 21
	ベースラインを17または21以上に引き上げ	
APサーバ	Resin	

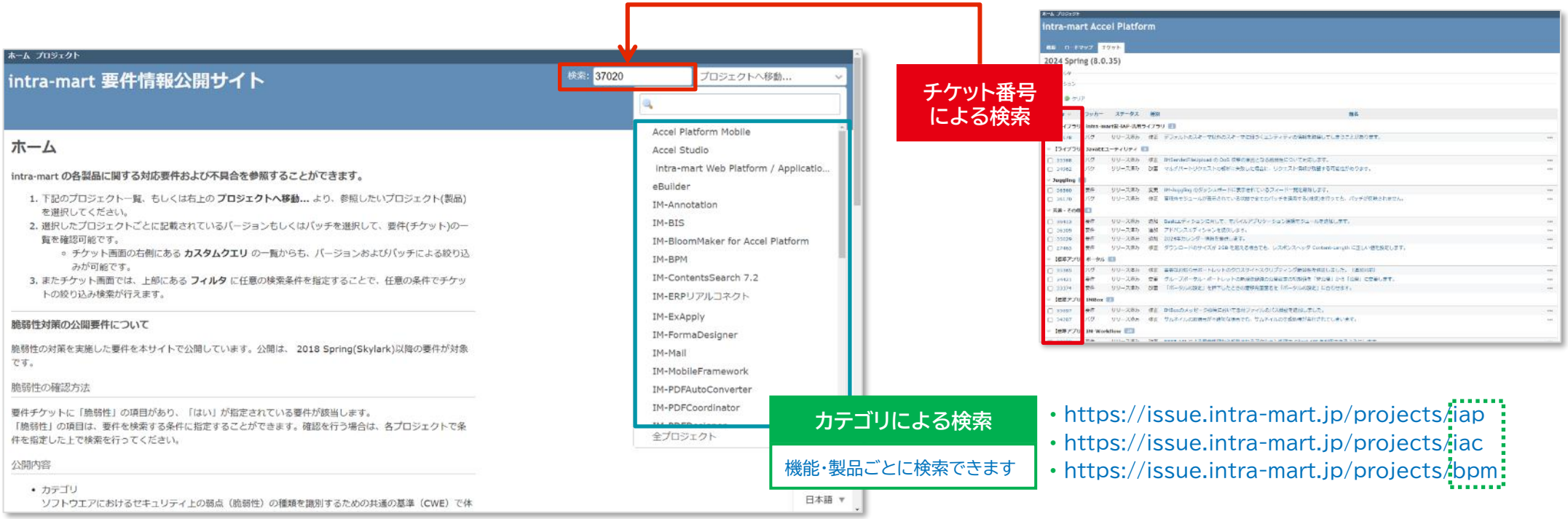
過去バージョンを継続利用する限り、Java、APサーバは継続サポートします。

© INTRAMART CORPORATION

要件情報公開サイトについて

本資料は要件情報公開サイトに記載されている内容のうち、
主要なアップデートについて記載しています。
本資料に記載のないアップデート情報、各アップデート内容の詳細を
確認したい場合は、要件情報公開サイトを併せてご利用ください。

intra-mart要件情報公開サイト
https://issue.intra-mart.jp/



- https://issue.intra-mart.jp/projects/iap
- https://issue.intra-mart.jp/projects/iac
- https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm

© INTRAMART CORPORATION

要件情報公開サイト: 2026 Autumn対応要件へのリンク 1

製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart Accel Platform	https://issue.intra-mart.jp/projects/iap/issues?query_id=1264
Accel Studio	https://issue.intra-mart.jp/projects/accelstudio/issues?query_id=1247
IM-BloomMaker	https://issue.intra-mart.jp/projects/bloommaker/issues?query_id=1254
IM-BIS	https://issue.intra-mart.jp/projects/bis/issues?query_id=1252
IM-FormaDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/forma/issues?query_id=1258
IM-Spreadsheet	https://issue.intra-mart.jp/projects/spreadsheet/issues?query_id=1282
IM-BPM	https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm/issues?query_id=1256
Accel Platform Mobile	https://issue.intra-mart.jp/projects/smacolow/issues?query_id=1246
IM-PDFAutoConverter	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfconv/issues?query_id=1268
IM-PDFCoordinator	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfcrd/issues?query_id=1270
IM-PDFDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdes/issues?query_id=1272

© INTRAMART CORPORATION

要件情報公開サイト: 2026 Autumn対応要件へのリンク 2

製品・機能	対応要件一覧URL
IM-PDFDirectPrint	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdp/issues?query_id=1274
IM-PDFTimeStamper	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfts/issues?query_id=1276
IM-Sign	https://issue.intra-mart.jp/projects/sign/issues?query_id=1280
e Builder	https://issue.intra-mart.jp/projects/ebuilder/issues?query_id=1250
intra-mart Accel Collaboration	https://issue.intra-mart.jp/projects/iac/issues?query_id=1260
intra-mart Accel Archiver	https://issue.intra-mart.jp/projects/iaa/issues?query_id=1284
intra-mart Accel Documents	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query_id=1262

© INTRAMART CORPORATION